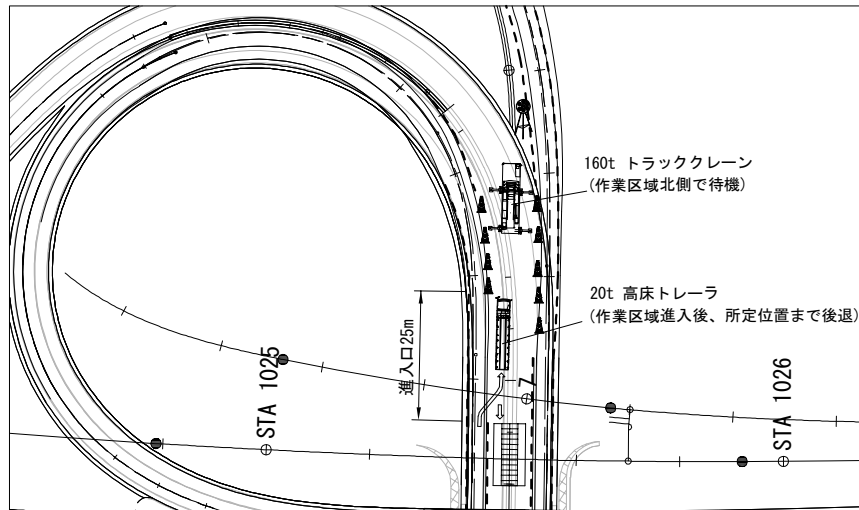


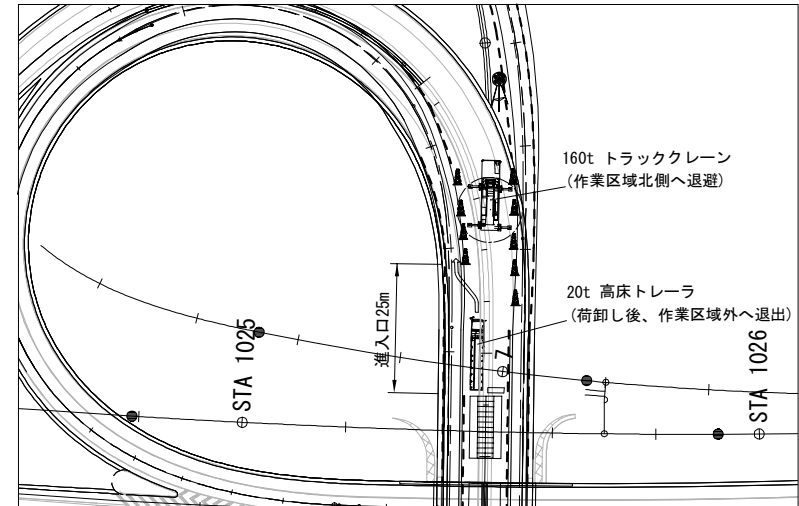
作業内容
・BOX中央隔壁施工

トマムIC施工図(1) S=1:1,000

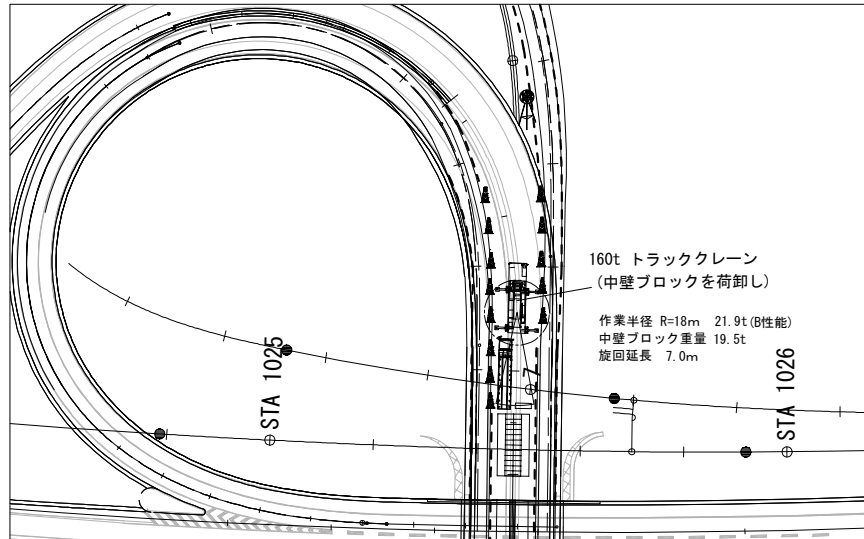
(1) トレーラ作業区域に進入



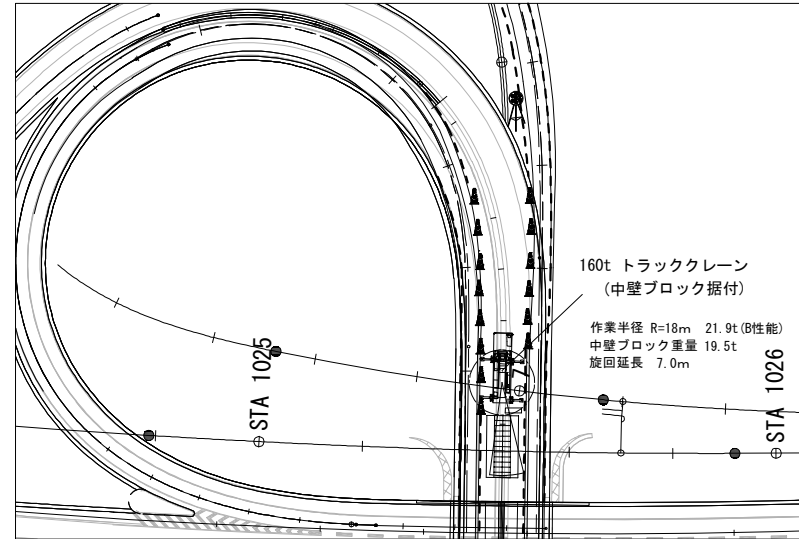
(3) トレーラ作業区域外に退出



(2) 中壁ブロック荷卸し



(4) 中壁ブロック据付



※以下(1)から(4)を繰り返す。

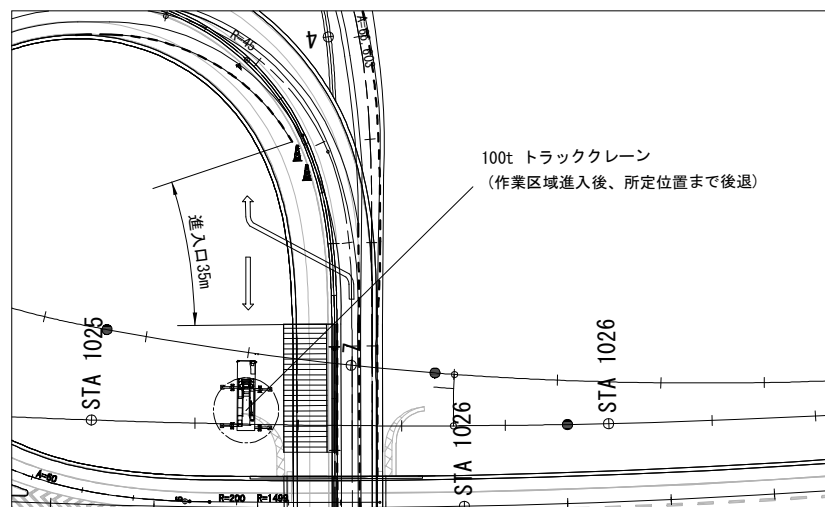
- ・最初に中央部の地盤改良を施工する。
- ・中壁ブロックは全体を2区域(12ブロックと13ブロック)に分けて施工する。
- ・先にループ起点側(南側)の12ブロックを据付する。
- ・起点側据付終了後、作業区域を移動して残りの13ブロックを据付する。

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC施工図(1)		
縮尺	S=1:1,000	図面番号	11 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

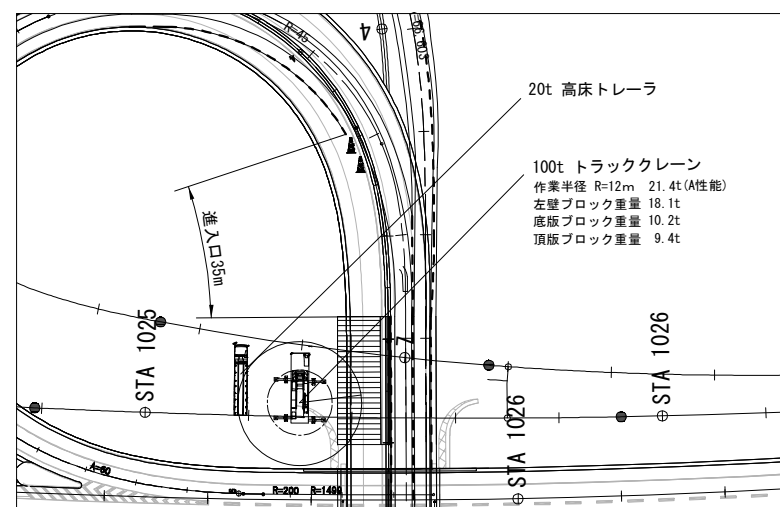
作業内容
・BOX左側隔壁施工

トマムIC施工図(2) S=1:1,000

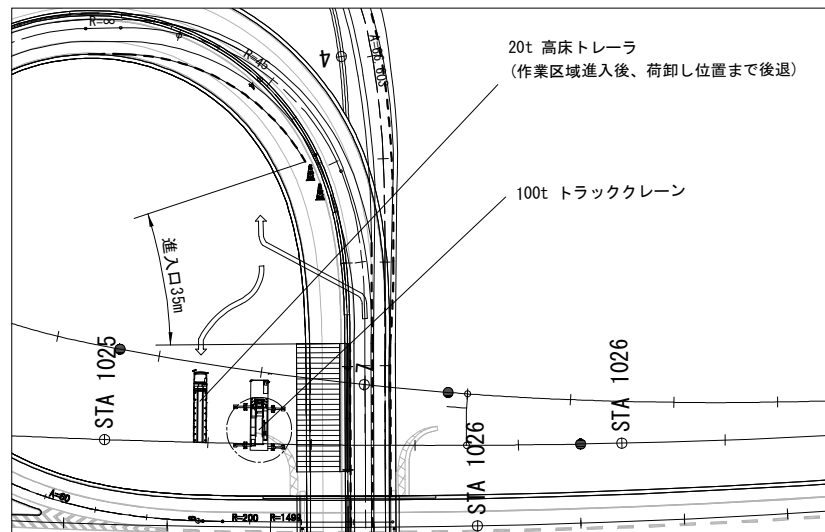
(1) トラッククレーン作業位置に設置



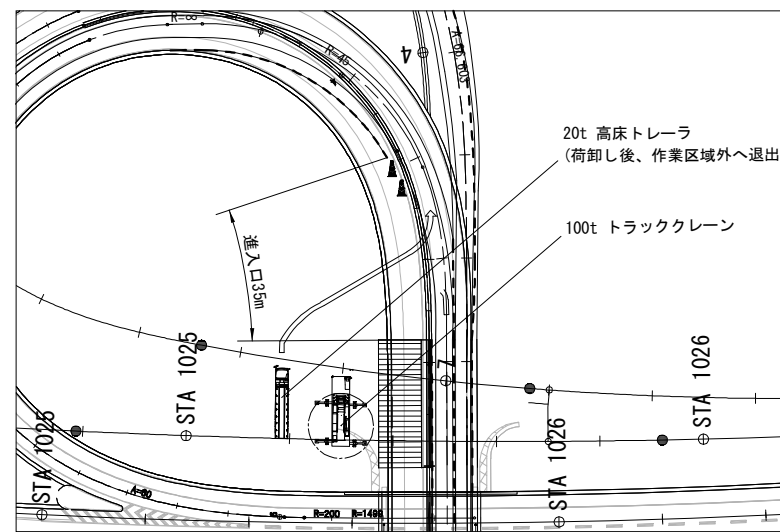
(3) 左壁ブロック、底版ブロック、頂版ブロック据付



(2) トレーラ作業区域に進入



(4) トレーラ作業区域外へ退出



- ・最初に左側の地盤改良を施工する。
- ・トラッククレーンを設置後、トレーラを所定位置に移動する。
- ・左壁ブロック、底版ブロック、頂版ブロックの順に据付する。

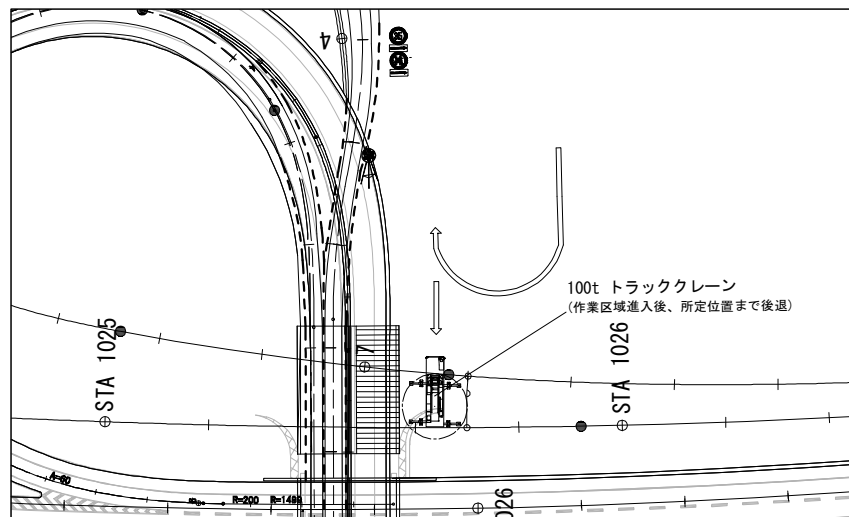
※以下(2)から(4)を繰り返す。

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC施工図(2)		
縮尺	S=1:1,000	図面番号	12 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工務事務所		

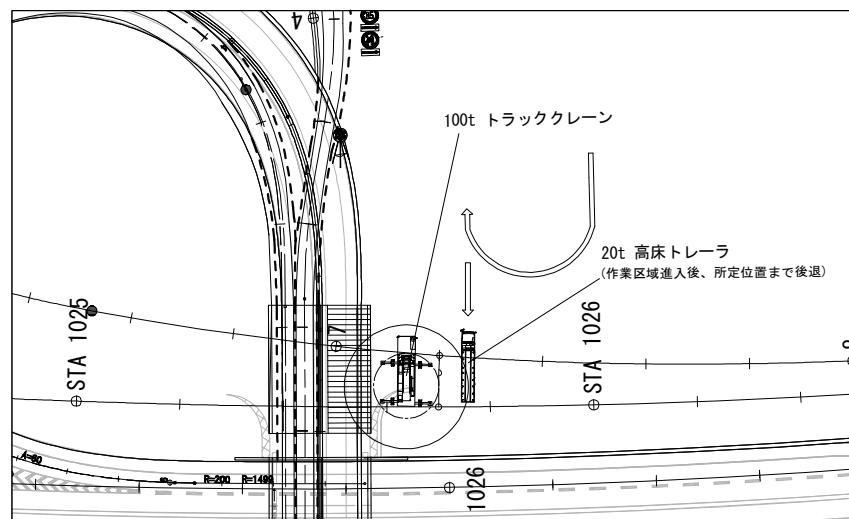
作業内容
・BOX右側隔壁施工

トナムIC施工図 (3) S=1:1,000

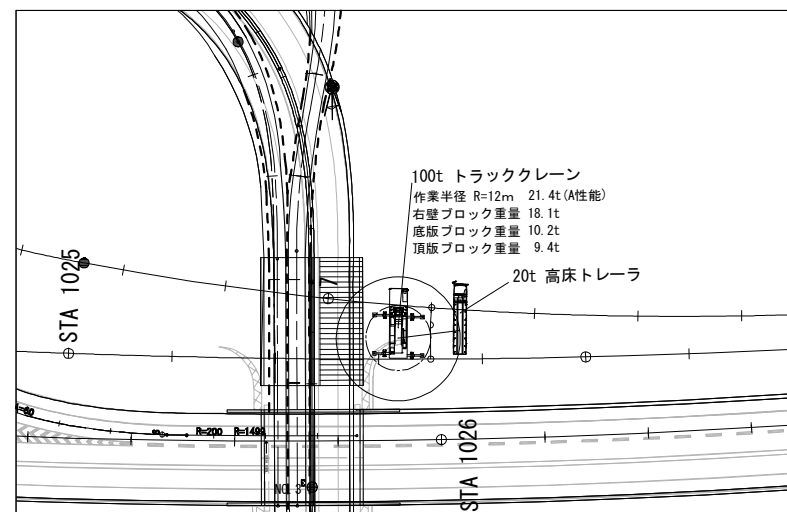
(1) トラッククレーン作業位置に設置



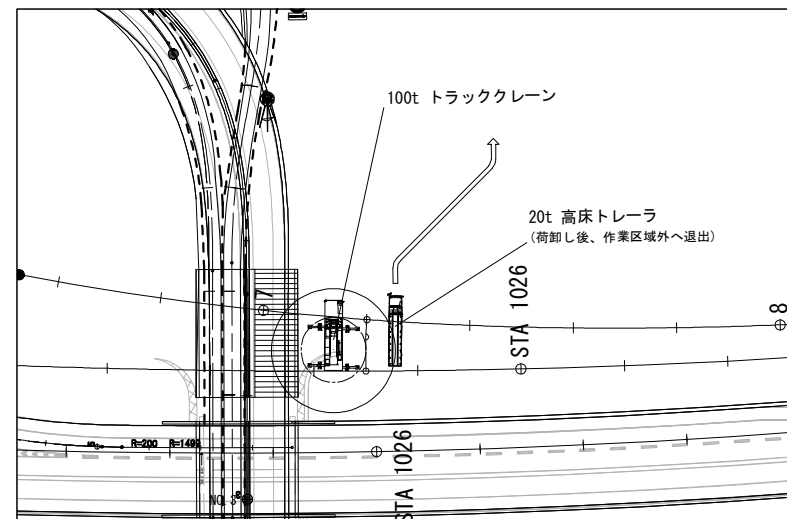
(2) トレーラ作業区域に進入



(3) 右壁ブロック、底版ブロック、頂版ブロック据付



(4) トレーラ作業区域外へ退出



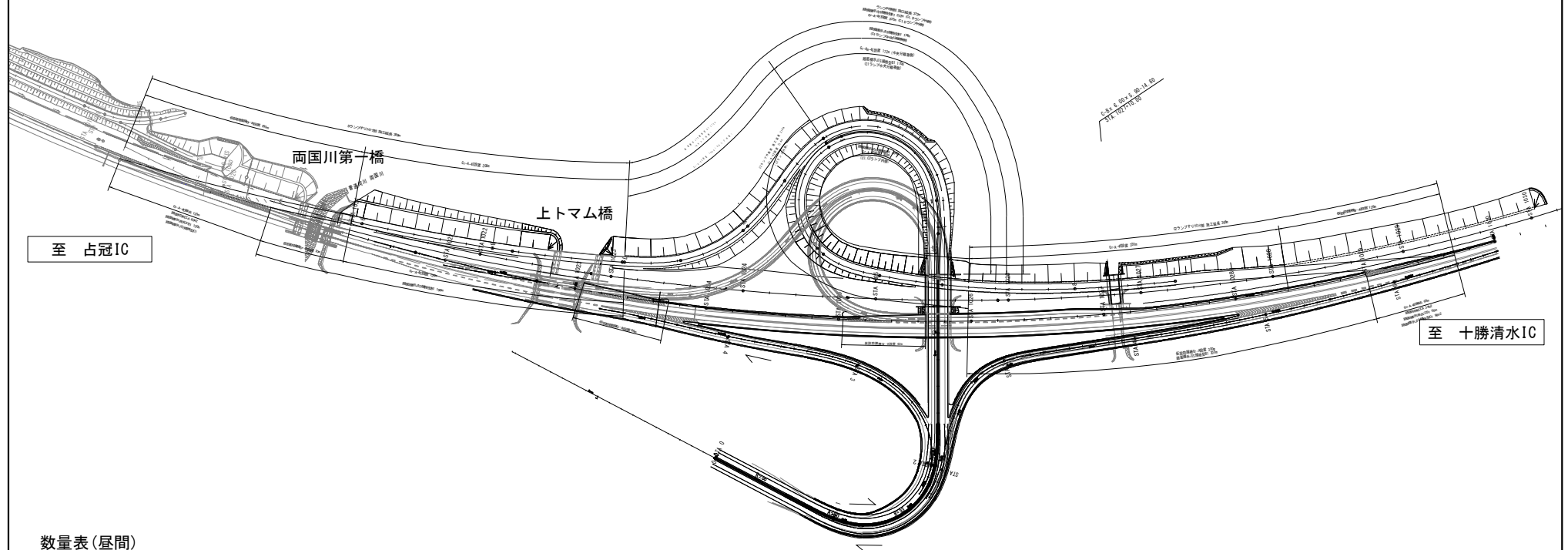
※以下(2)から(4)を繰り返す。

- ・最初に右側の地盤改良を施工する。
- ・トラッククレーンを設置後、トレーラを所定位置に移動する。
- ・右壁ブロック、底版ブロック、頂版ブロックの順に据付する。

道 東 自 動 車 道 トナムIC工事			
図面の種類	トナムIC施工図 (3)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	13 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

トマムIC交通運用図 (1)

S=1:3,000



数量表 (昼間)

項 目	細 目	単位	数量	摘 要
道路掘削	土砂 A	m3	835.9	土羽土
客土掘削	土砂 A	m3	25,173.6	路体部 盛土
	土砂 B	m3	15,442.0	路体部 盛土
	土砂 C	m3	18,260.0	路体部 盛土
盛土工	盛土工 A1	m3	4,695.0	上部路床 盛土
	盛土工 A2	m3	1,217.0	下部路床 (凍上抑制層) 盛土
	盛土工 A3	m3	9,608.0	下部路床 盛土
	盛土工 B1	m3	52,526.4	路体部 盛土
地盤改良工	中層混合処理A	m3	1,016.3	BOXカルバート 下部
粒状路盤工	下層路盤 (t=10cm)	m2	12,319.8	
アスファルト混合物	加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)	t	5,314.2	
	アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm)	t	1,529.0	
	アスファルトコンクリート橋梁レベリング層工 (t=4cm)	t	96.8	橋梁部舗装
	アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)	t	1,105.4	
瀝青材散布工	プライムコート	ℓ	9,239.8	PK-3
	タックコート	ℓ	9,041.3	PKM-T
ランプ切替工	仮設防護柵Gr-A 設置	m	678.0	
防護柵	Gr-A-4E	m	1726.0	
	Gr-Am-4E	m	172.0	
アスファルト舗装改良工	切削オーバーレイ工	m2	94.0	
路面標示工	路面標示JIS規格型B1	m	2,748.0	
構造物等取壊し工	アスファルト舗装版取壊し (TYPE A)	m2	6,597.6	

数量表 (夜間)

項 目	細 目	単位	数量	摘 要
粒状路盤工	下層路盤 (t=10cm) (Y)	m2	273.6	
アスファルト混合物	加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm) (Y)	t	128.6	
	アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm) (Y)	t	38.6	
	アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm) (Y)	t	25.7	
瀝青材散布工	プライムコート (Y)	ℓ	205.2	PK-3
	タックコート (Y)	ℓ	218.9	PKM-T
ランプ切替工	仮設防護柵Gr-A 設置 (Y)	m	128.0	※
路面標示工	路面標示JIS規格型C1 (Y)	m	286.0	※
路面標示消去工	B1 (Y)	m	188.0	※
構造物等取壊し工	アスファルト舗装版取壊し (TYPE A) (Y)	m2	273.6	※

※は率計上を示す。

※は率計上を示す。

道 東 自 動 車 道 トマムIC交通運用図 (1)			
図面の種類	トマムIC交通運用図 (1)		
縮 尺	S=1:3,000	図面番号	14 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

施工内容
・盛土及び橋梁施工

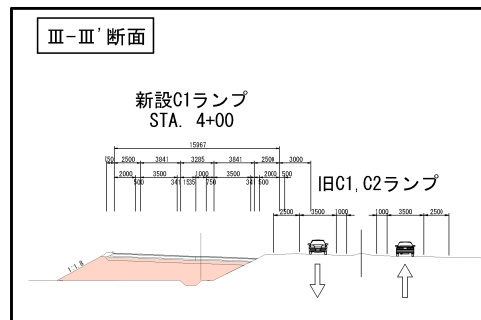
【凡例】

- : 一般車両通行帯
- : 盛土 施工中
- : 橋梁 施工中

トマムIC交通運用図 (2) S=1:3,000

STEP1

施工期間: R7.5~R7.11
【現況の車線運用】



STEP1: 盛土及び橋梁施工

STEP2: 新設Dランプ舗装工事

STEP3: Dランプ切り替え工事

STEP4: BOX中央隔壁施工

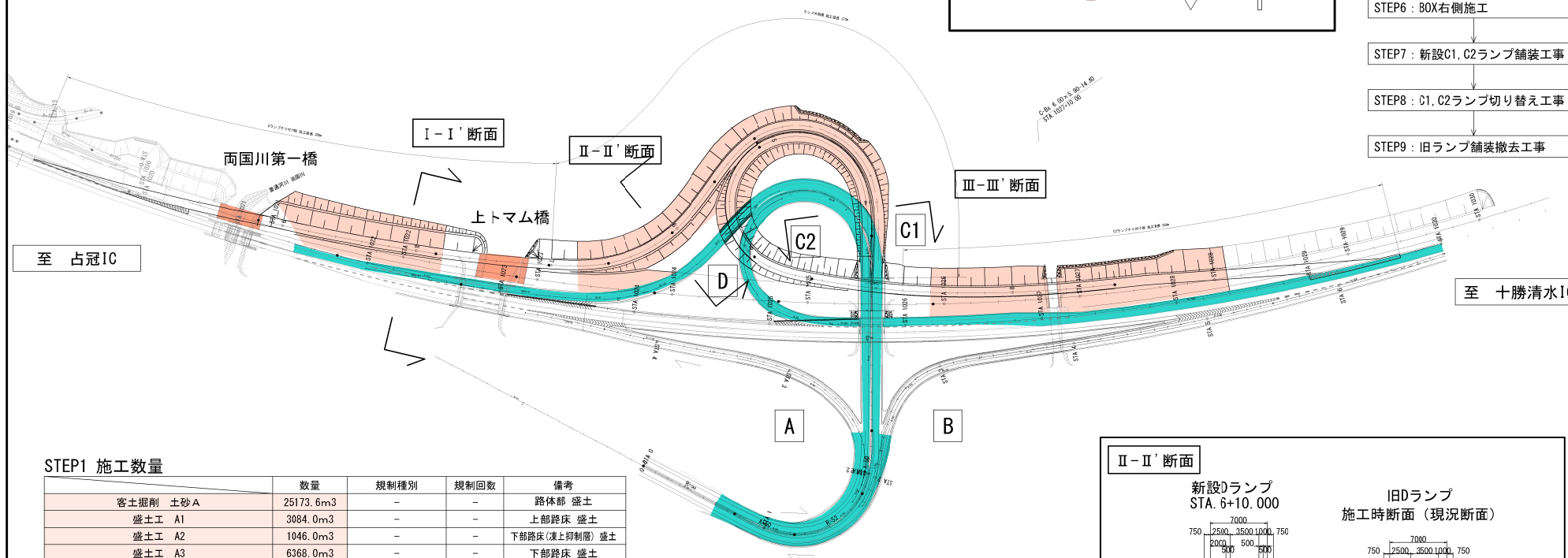
STEP5: BOX左側施工

STEP6: BOX右側施工

STEP7: 新設C1, C2ランプ舗装工事

STEP8: C1, C2ランプ切り替え工事

STEP9: 旧ランプ舗装撤去工事

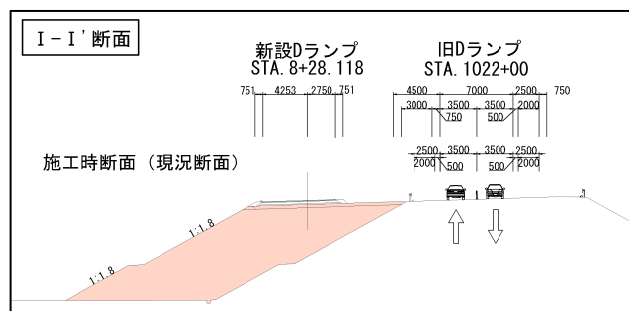
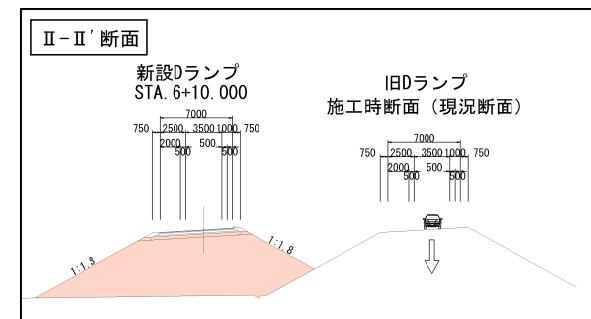


STEP1 施工数量

	数量	規制種別	規制回数	備考
客土掘削 土砂 A	25173.6m ³	-	-	路体部 盛土
盛土工 A1	3084.0m ³	-	-	上部路床 盛土
盛土工 A2	1046.0m ³	-	-	下部路床(凍上抑制層) 盛土
盛土工 A3	6368.0m ³	-	-	下部路床 盛土
盛土工 B1	52526.4m ³	-	-	路体部 盛土

橋梁工 施工数量

	数量	備考
両国川第一橋	コンクリート	1754.5m ³
	型枠	1586.8m ²
	鉄筋	290.710t
上トマム橋	コンクリート	2203.7m ³
	鉄筋	281.194t



道東自動車道 トマムIC工事	
図面の種類	トマムIC交通運用図 (2) STEP1
縮尺	S=1:3,000
図面番号	15 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

施工内容

- ・両国川第一橋、上トマム橋、橋台周辺盛土工
- ・新設Dランプの舗装施工

【凡例】

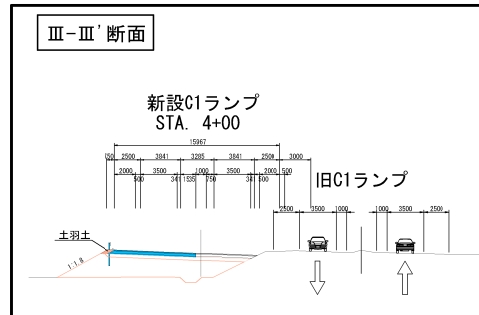
- 一般車両通行帯
- 盛土 施工中
- 施工済
- 舗装 施工中

トマムIC交通運用図 (3) S=1:3,000

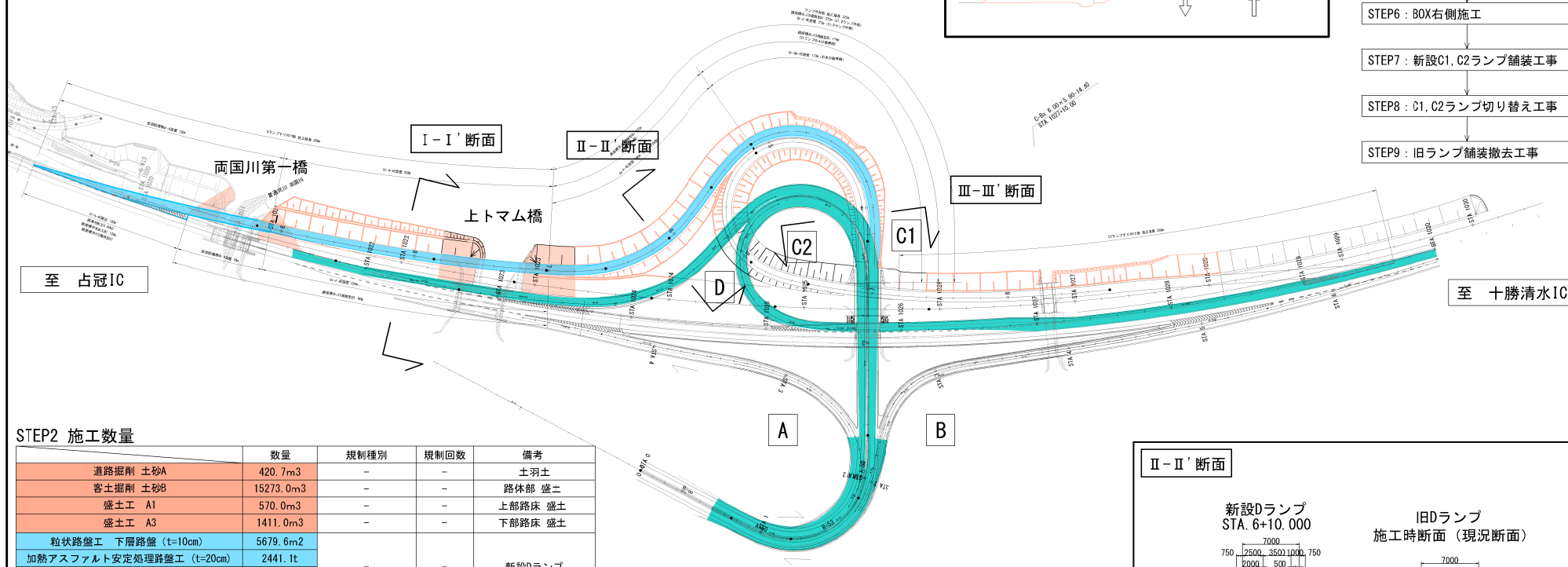
STEP2

施工期間：R8.5～R8.7

【現況の車線運用】



- STEP1：盛土及び橋梁施工
- STEP2：新設Dランプ舗装工事**
- STEP3：Dランプ切り替え工事
- STEP4：BOX中央隔壁施工
- STEP5：BOX左側施工
- STEP6：BOX右側施工
- STEP7：新設C1、C2ランプ舗装工事
- STEP8：C1、C2ランプ切り替え工事
- STEP9：旧ランプ舗装撤去工事



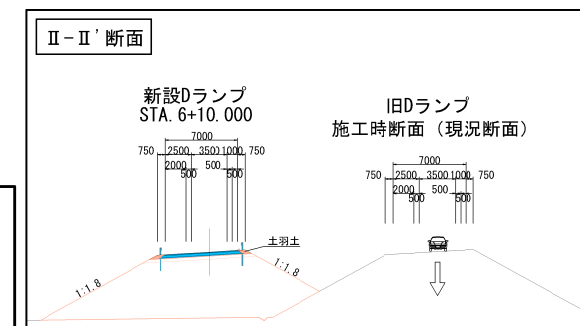
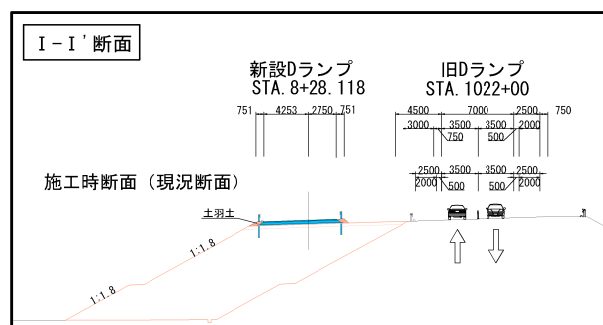
STEP2 施工数量

	数量	規制種別	規制回数	備考
道路掘削 土砂A	420.7m ³	-	-	土羽土
客土掘削 土砂B	15273.0m ³	-	-	路休部 盛土
盛土工 A1	570.0m ³	-	-	上部路床 盛土
盛土工 A3	1411.0m ³	-	-	下部路床 盛土
粒状路盤工 下層路盤 (t=10cm)	5679.6m ²	-	-	
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)	2441.1t	-	-	新設Dランプ
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm)	701.0t	-	-	
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)	462.2t	-	-	
アスファルトコンクリート橋梁レベリング層工 (t=4cm)	96.8t	-	-	橋梁部 (上トマム橋、両国川第一橋)
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)	96.8t	-	-	
プライムコート	4259.7ℓ	-	-	PK-3
タックコート	4390.3ℓ	-	-	PKM-T
ランプ切替工 仮設防護柵Gr-A 設置	250.0m	路肩規制A(※1)	3回	※
防護柵工 Gr-A-4E 設置	328.0m			※
アスファルト舗装改良工 切削オーバーレイ工	60.0m ²			※
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	578.0m	-	-	※
防護柵工 Gr-A-4E 設置	562.0m			※
防護柵工 Gr-Am-4E 設置	172.0m			※
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	906.0m	-	-	※

※1. 本線へのすり付け部施工に伴う路肩規制の詳細については、「トマムIC交通規制図(4)」を参照。

※2. 新設Dランプすり付け部の路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図(路面標示工)(1)」を参照。

※3. 新設Dランプの路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図(路面標示工)(2)」を参照。



道東自動車道 トマムIC工事	
図面の種類	トマムIC交通運用図 (3)
縮尺	S=1:3,000
設計会社名	株式会社 建設技術研究所
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所
事務所名	

施工内容(夜間工事)

- ・旧Dランプを新設Dランプ高さまで調整。
- ・新設Dランプに切り替え。

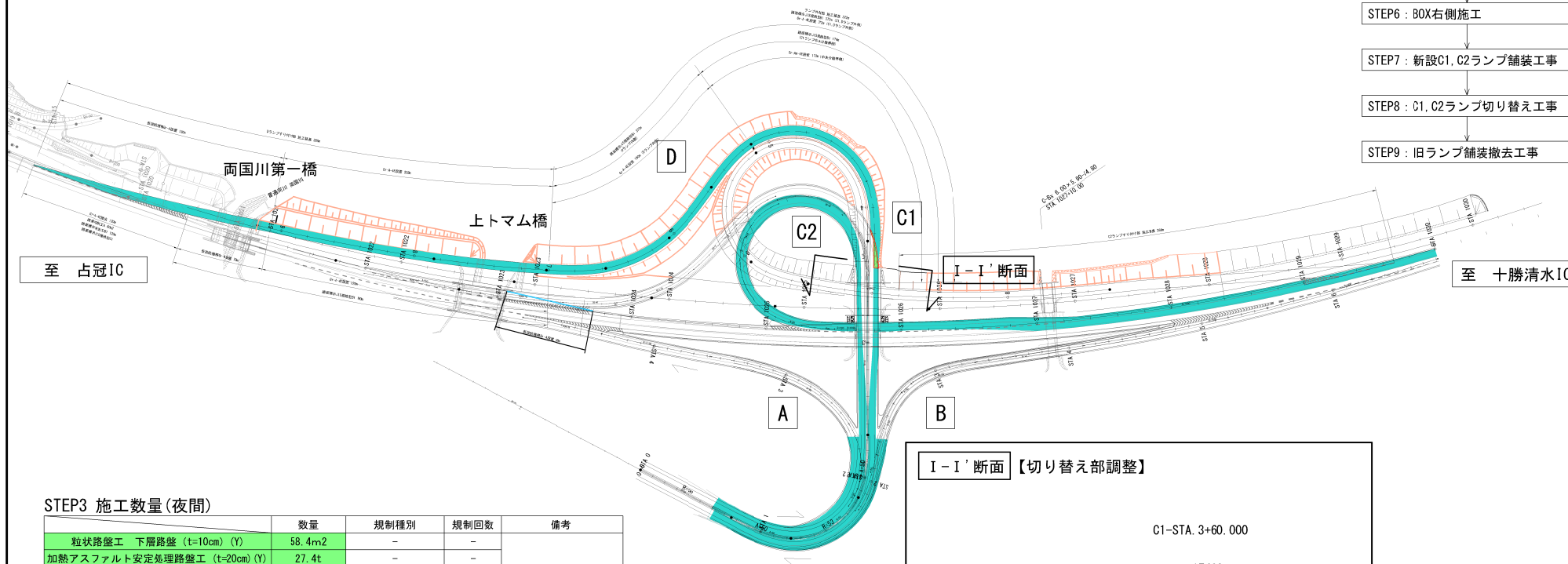
【凡例】

- : 一般車両通行帯
- : 舗装(夜間) 施工中
- : 施工済
- : 舗装撤去(夜間) 施工中

トマムIC交通運用図(4) S=1:3,000

STEP3
施工期間: R8.9~R8.9
【Dランプ切り替え】

- STEP1: 盛土及び橋梁施工
- STEP2: 新設Dランプ舗装工事
- STEP3: Dランプ切り替え工事**
- STEP4: BOX中央隔壁施工
- STEP5: BOX左側施工
- STEP6: BOX右側施工
- STEP7: 新設C1, C2ランプ舗装工事
- STEP8: C1, C2ランプ切り替え工事
- STEP9: 旧ランプ舗装撤去工事



STEP3 施工数量(夜間)

	数量	規制種別	規制回数	備考
粒状路盤工 下層路盤 (t=10cm) (Y)	58.4m ²	-	-	Dランプ切替部
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm) (Y)	27.4t	-	-	
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm) (Y)	8.3t	-	-	
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm) (Y)	5.5t	-	-	
プライムコート (Y)	43.8ℓ	-	-	FK-3
タックコート (Y)	46.7ℓ	-	-	PKM-T
構造物等取壊し工	58.4m ²	-	-	※
アスファルト舗装版取壊し (TYPE A) (Y)	-	-	-	
路面標示工 路面標示JIS規格型C (Y)	190.0m ²	-	-	新設
路面標示消去工 B1 (Y)	120.0m	-	-	本線すり付け部(※1)
ランプ切替工 仮設防護柵Gr-A 設置 (Y)	66.0m	-	-	新設Dランプ(※2)

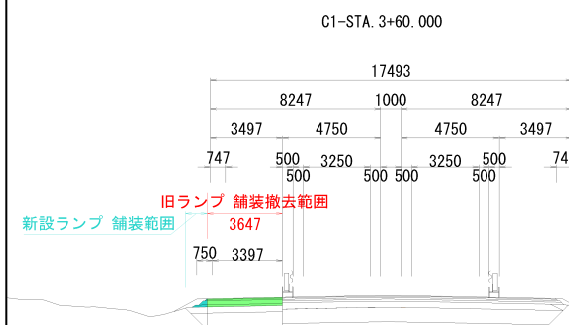
通行止め期間での施工のため、交通規制を伴わない。

※1. 新設Dランプすり付け部の路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図(路面標示工) (1)」を参照。

※2. 新設Dランプの路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図(路面標示工) (2)」を参照。

※は率計上を示す。

I-I'断面 【切り替え部調整】



道東自動車道 トマムIC工事	
図面の種類	トマムIC交通運用図(4) STEP3
縮尺	S=1:3,000 図面番号 17 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

施工内容

- IC-BOX部舗装撤去及びBOX中央隔壁施工。
- IC-BOX部舗装復旧。
- 旧Dランプと新設C2ランプ交差部の舗装撤去及び盛土。

【凡例】

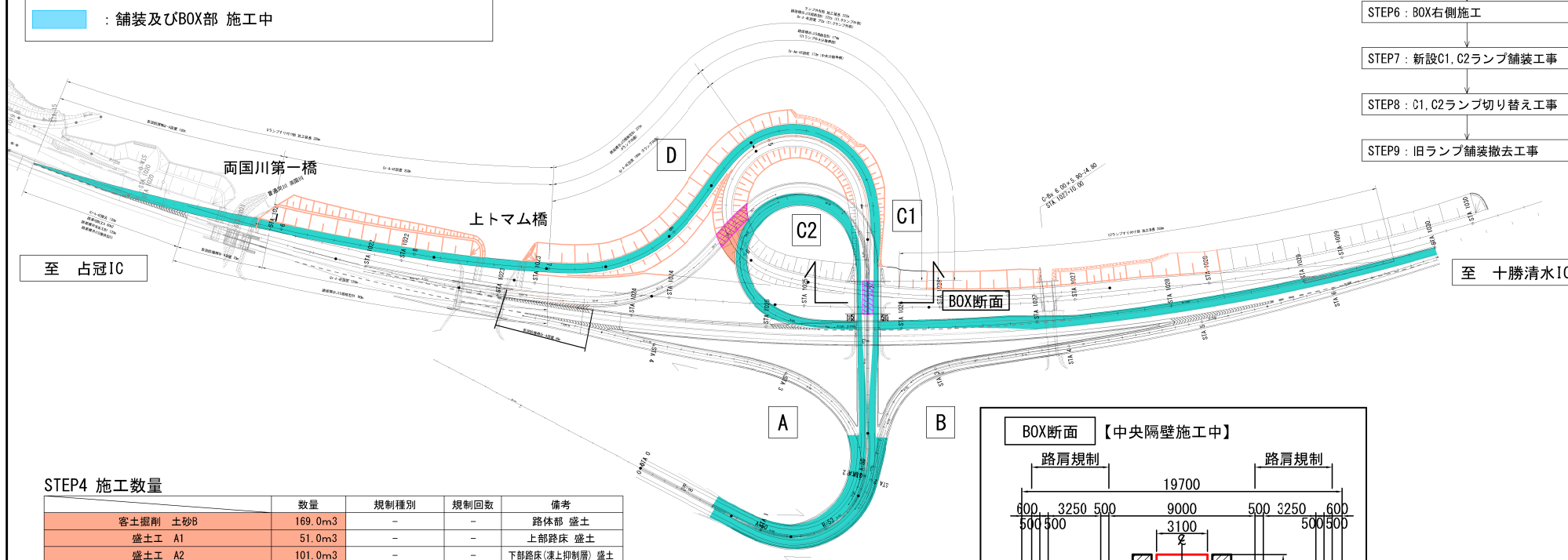
- 一般車両通行帯
- 盛土 施工中
- 施工済
- 舗装撤去 施工中
- 舗装及びBOX部 施工中

トマムIC交通運用図 (5) S=1:3,000

STEP4

施工期間：R8.10～R8.11
【IC-BOX付近規制】

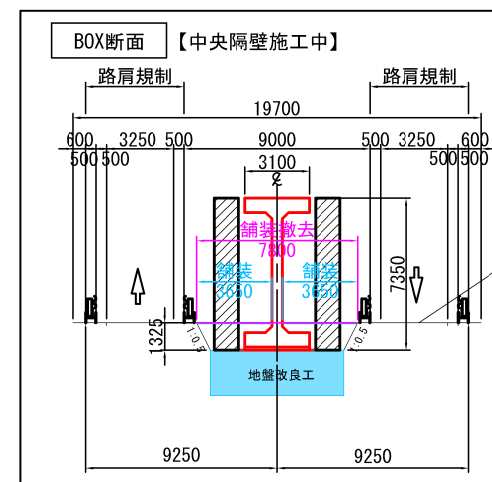
- STEP1：盛土及び橋梁施工
- STEP2：新設Dランプ舗装工事
- STEP3：Dランプ切り替え工事
- STEP4：BOX中央隔壁施工
- STEP5：BOX左側施工
- STEP6：BOX右側施工
- STEP7：新設C1、C2ランプ舗装工事
- STEP8：C1、C2ランプ切り替え工事
- STEP9：旧ランプ舗装撤去工事



STEP4 施工数量

	数量	規制種別	規制回数	備考
客土掘削 土砂B	169.0m ³	-	-	路体部 盛土
盛土工 A1	51.0m ³	-	-	上部路床 盛土
盛土工 A2	101.0m ³	-	-	下部路床(凍上抑制層) 盛土
地盤改良工 中層混合処理A	304.5m ³	中央分離帯規制 A(※1)	-	IC-BOX 中央隔壁部
粒状路盤工 下層路床 (t=10cm)	181.0m ²			
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)	85.1t			
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm)	25.5t			
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)	17.0t			
プライムコート	135.7ℓ	-	-	FK-3
タックコート	126.8ℓ	-	-	PKM-T
構造物等取壊し工	193.4m ²	-	-	※
アスファルト舗装撤去壊し(TYPE A)	279.7m ²	-	-	

※1. 規制内作業となるが、夜間通行止め時に防護柵等の設置を行うため、規制回数を伴わない。
規制の詳細については、「トマムIC交通規制図(5)」を参照。
※は率計上を示す。



切り回し時
車線・路肩縮小

※中央隔壁部の施工完了後、左右のBOX施工前に冬季休止期間に入るため、舗装を復旧し道路幅員を確保する。舗装復旧後の規制については、「トマムIC交通規制図(6)」を参照。

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通運用図 (5) STEP4		
縮尺	S=1:3,000	図面番号	18 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

施工内容

- ・ IC-BOX部左側施工。
- ・ 新設C2ランプの盛土施工。

【凡例】

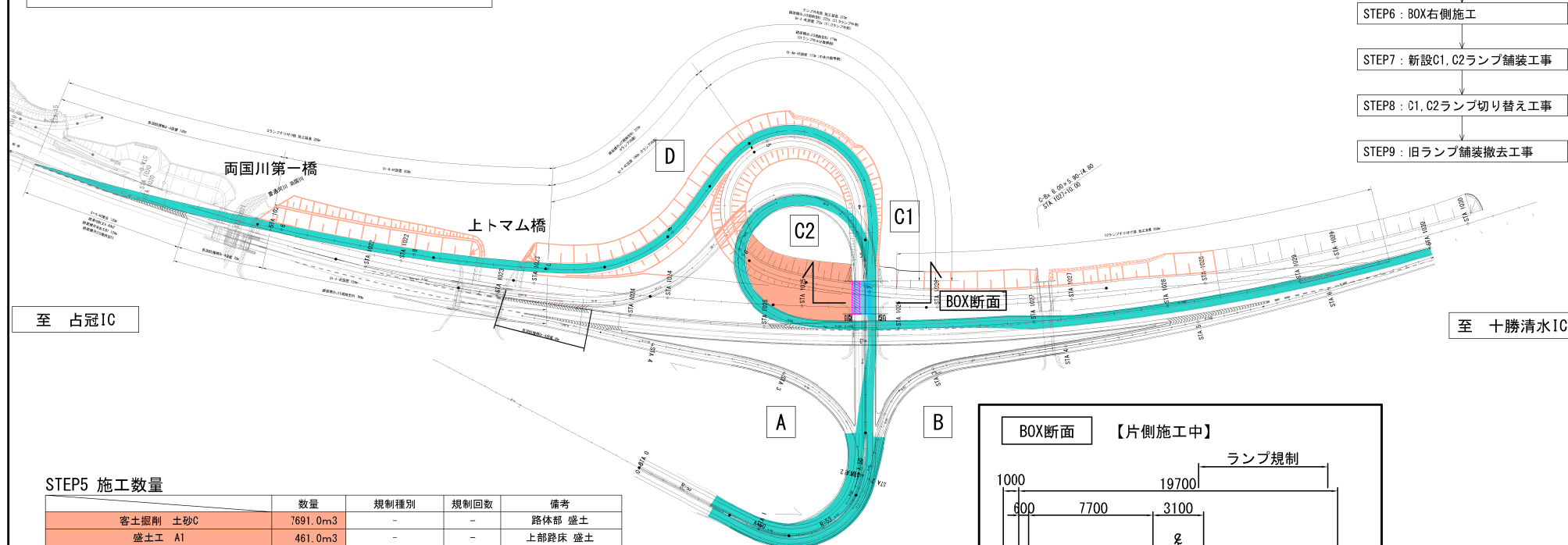
- 一般車両通行帯
- 盛土 施工中
- 施工済
- 舗装撤去 施工中
- 舗装及びBOX部 施工中

トマムIC交通運用図 (6) S=1:3,000

STEP5

施工期間：R9.6～R9.8
【IC-BOX 右側対面通行】

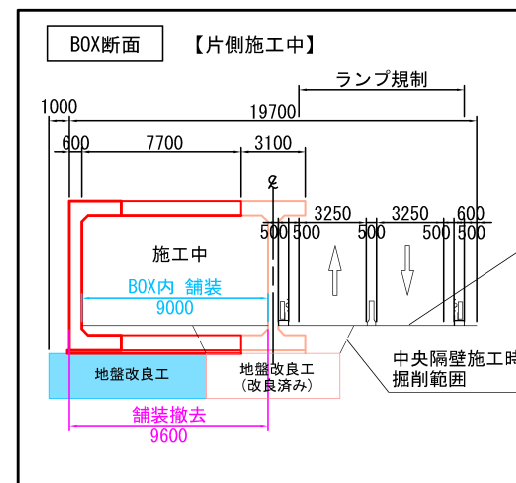
- STEP1：盛土及び橋梁施工
- STEP2：新設Dランプ舗装工事
- STEP3：Dランプ切り替え工事
- STEP4：BOX中央隔壁施工
- STEP5：BOX左側施工
- STEP6：BOX右側施工
- STEP7：新設C1、C2ランプ舗装工事
- STEP8：C1、C2ランプ切り替え工事
- STEP9：旧ランプ舗装撤去工事



STEP5 施工数量

	数量	規制種別	規制回数	備考
客土掘削 土砂C	7691.0m3	-	-	路体部 盛土
盛土工 A1	461.0m3	-	-	上部路床 盛土
盛土工 A2	17.0m3	-	-	下部路床(凍土抑制層) 盛土
盛土工 A3	773.0m3	-	-	下部路床 盛土
地盤改良工 中層混合処理A	355.9m3	ランプ規制 A(※)	6回	IC-BOX部 施工側
粒状路盤工 下層路盤 (t=10cm)	223.2m2			
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)	104.9t			
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm)	31.5t			
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)	21.0t	-	-	FK-3
プライムコート	167.4ℓ	-	-	PKM-T
タックコート	156.3ℓ	-	-	
構造物等取壊し工	238.1m2			
アスファルト舗装撤去壊し (TYPE A)				

※1. 規制の詳細については、「トマムIC交通規制図(7)」を参照。
※は率計上を示す。



道東自動車道 トマムIC工事	
図面の種類	トマムIC交通運用図 (6) STEP5
縮尺	S=1:3,000
図面番号	19 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

施工内容

- ・ IC-BOX部右側施工。
- ・ IC-BOX部右側の盛土施工。

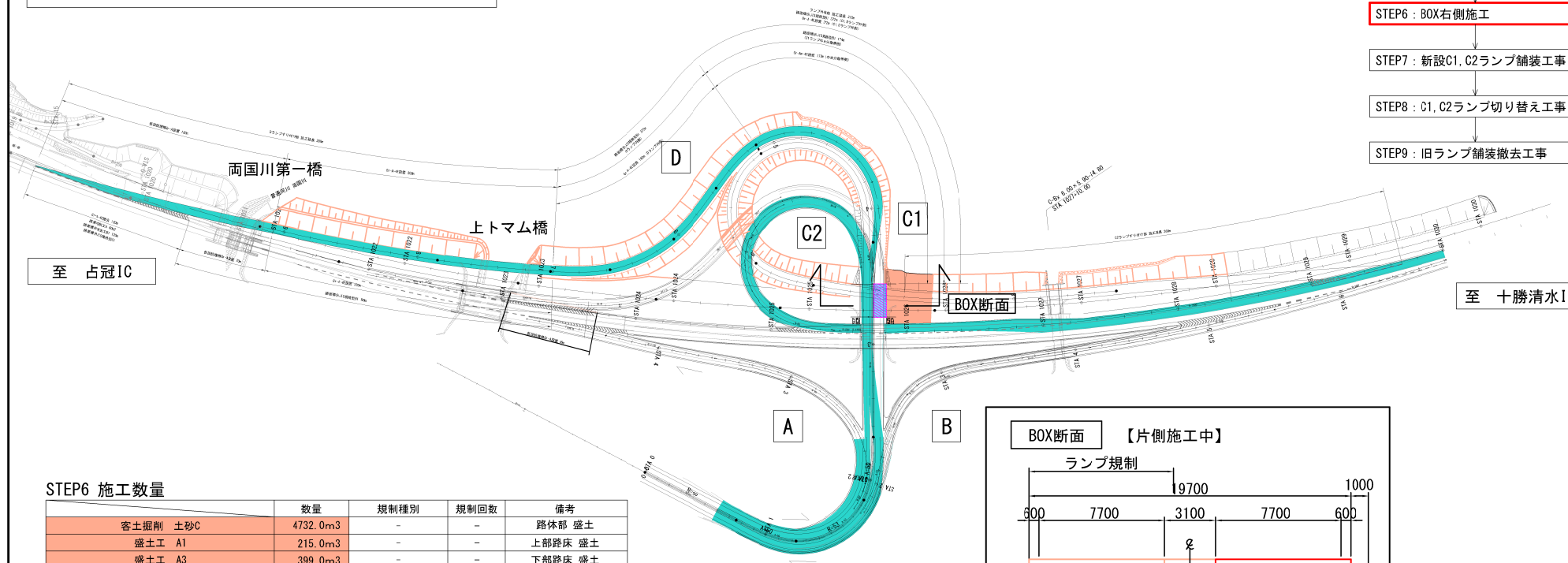
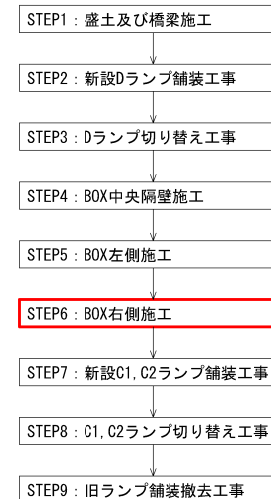
【凡例】

- 一般車両通行帯
- 盛土 施工中
- 施工済
- 舗装撤去 施工中
- 舗装及びBOX部 施工中

トマムIC交通運用図 (7) S=1:3,000

STEP6

施工期間：R9.10～R9.11
【IC-BOX 左側対面通行】

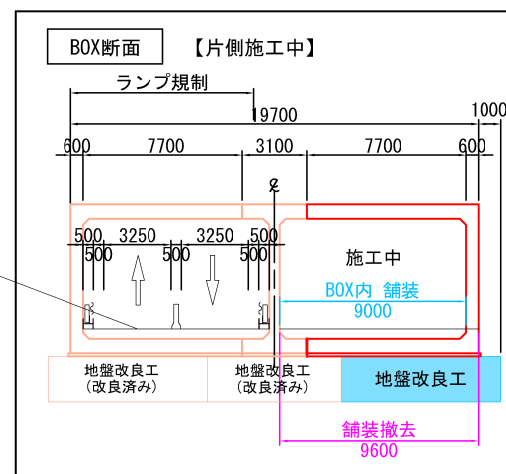


STEP6 施工数量

数量	規制種別	規制回数	備考
客土掘削 土砂C	4732.0m ³	-	路体部 盛土
盛土工 A1	215.0m ³	-	上部路床 盛土
盛土工 A3	399.0m ³	-	下部路床 盛土
地盤改良工 中層混合処理A	355.9m ³	ランプ規制 B(※)	7回 IC-BOX部 施工側
粒状路盤工 下層路盤 (t=10cm)	223.2m ²		
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)	104.9t		
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm)	31.5t		
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)	21.0t		
プライムコート	167.4ℓ	-	FK-3
タックコート	156.3ℓ	-	PKM-T
構造物等取壊し工 アスファルト舗装撤去壊し (TYPE A)	238.1m ²		

※1. 規制の詳細については、「トマムIC交通規制図(8)」を参照。
※は車計上を示す。

切り回し時
車線・路肩縮小



※. BOXの施工完了後、BOX内の通行を開放する。
規制の詳細については、「トマムIC交通規制図(9)」を参照。

道東自動車道 トマムIC工事	
図面の種類	トマムIC交通運用図 (7) STEP6
縮尺	S=1:3,000 図面番号 20 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所

施工内容

・新設C1, C2ランプ切替前の舗装工事

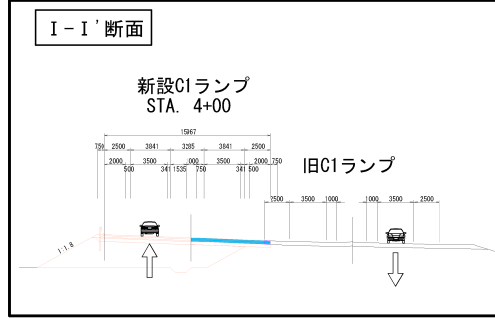
【凡例】

- 一般車両通行帯
- 舗装 施工中
- 施工済
- 舗装撤去 施工中

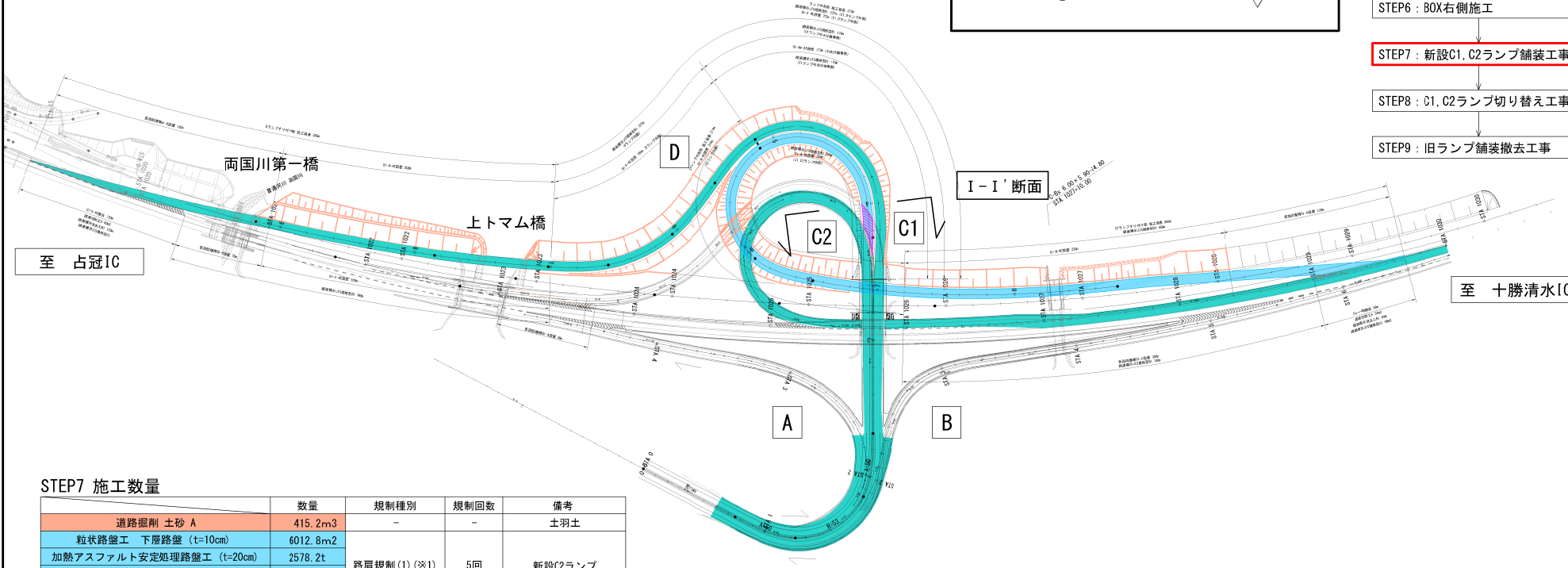
トマムIC交通運用図 (8) S=1:3,000

STEP7

施工期間：R10.5～R10.5
【新設C1, C2ランプの舗装工事】



- STEP1：盛土及び橋梁施工
- STEP2：新設Dランプ舗装工事
- STEP3：Dランプ切り替え工事
- STEP4：BOX中央隔壁施工
- STEP5：BOX左側施工
- STEP6：BOX右側施工
- STEP7：新設C1, C2ランプ舗装工事
- STEP8：C1, C2ランプ切り替え工事
- STEP9：旧ランプ舗装撤去工事



STEP7 施工数量

	数量	規制種別	規制回数	備考
道路掘削 土砂 A	415.2m3	-	-	土羽土
粒状路盤工 下層路盤 (t=10cm)	6012.8m2	路肩規制 (1) (※1)	5回	新設C2ランプ
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm)	2578.2t			
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm)	739.5t			
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm)	487.4t			
プライムコート	4509.6ℓ			
タックコート	4211.6ℓ	-	-	FK-3
構造物等取壊し工	138.2m2	-	-	旧C2ランプ 切り替え部
アスファルト舗装撤去工 (TYPE A)	428.0m	路肩規制 (2) (※2)	2回	新設 本線すり付け部 (※3)
ランプ切替工 仮設防護柵Gr-A 設置	238.0m			
防護柵工 Gr-A-4E 設置	34.0m2			
アスファルト舗装改良工 切削オーバーレイ工	666.0m			
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	598.0m			
防護柵工 Gr-A-4E 設置	598.0m	-	-	新設C2ランプ (※4)
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	598.0m	-	-	

※1. ランプ部の作業箇所出入口付近での交通規制の詳細については、「トマムIC交通規制図 (10)」を参照。
※2. 本線へのすり付け部施工に伴う路肩規制の詳細については、「トマムIC交通規制図 (11)」を参照。
※3. 新設C2ランプすり付け部の路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図 (路面標示工) (3)」を参照。
※4. 新設C2ランプの路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図 (路面標示工) (2)」を参照。

※は率計上を示す。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム I C 工 事			
図面の種類	トマムIC交通運用図 (8) STEP7		
縮 尺	S=1:3,000	図面番号	21 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

施工内容(夜間工事)

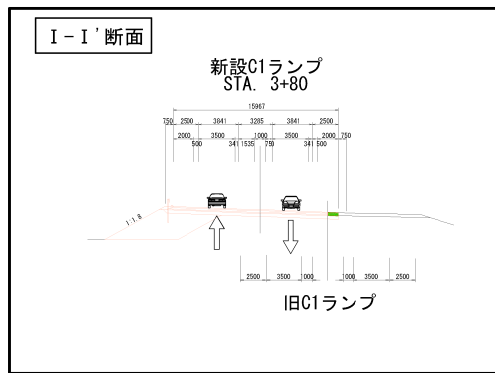
- ・新設C2ランプに接続する旧C1ランプの高さを調整。
- ・新設C2ランプと旧C2ランプ交差部の舗装施工。
- ・新設C2ランプに切り替え。

【凡例】

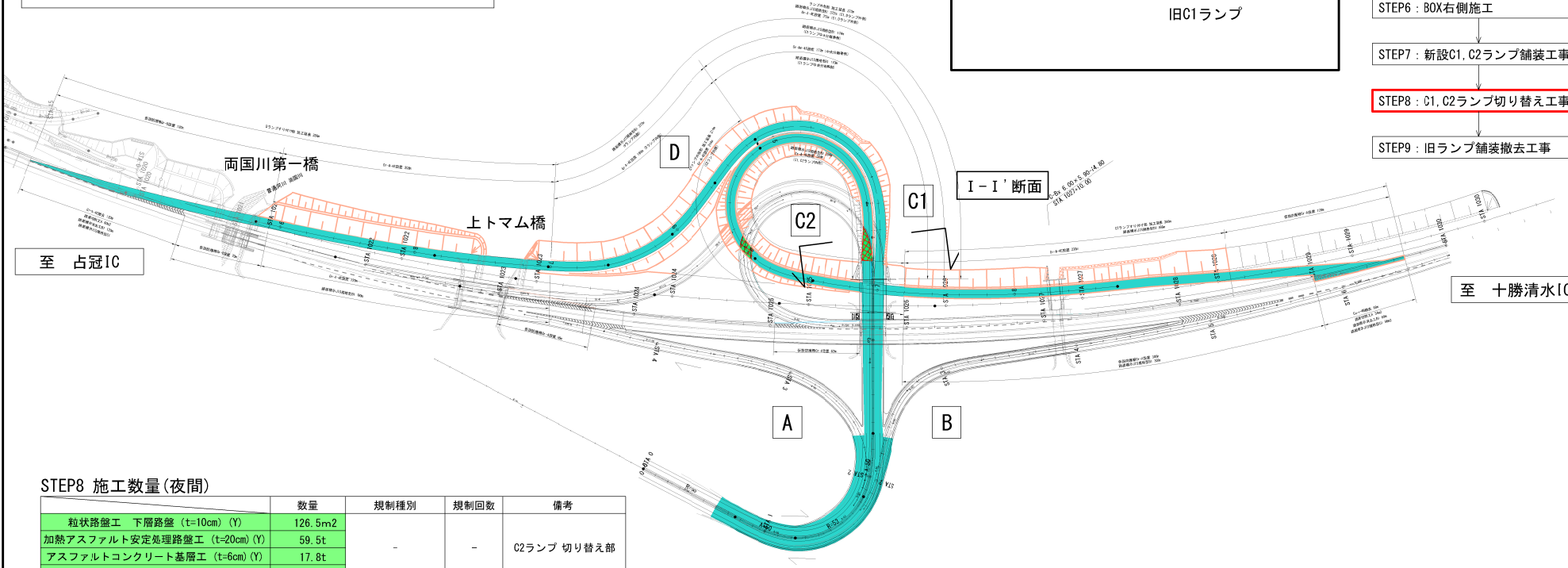
- : 一般車両通行帯
- : 舗装(夜間) 施工中
- : 施工済
- : 舗装撤去(夜間) 施工中

トマムIC交通運用図(9) S=1:3,000

STEP8
施工期間: R10.6~R10.6
【C2ランプ切り替え】



- STEP1: 盛土及び橋梁施工
- STEP2: 新設Dランプ舗装工事
- STEP3: Dランプ切り替え工事
- STEP4: BOX中央隔壁施工
- STEP5: BOX左側施工
- STEP6: BOX右側施工
- STEP7: 新設C1, C2ランプ舗装工事
- STEP8: C1, C2ランプ切り替え工事**
- STEP9: 旧ランプ舗装撤去工事



STEP8 施工数量(夜間)

	数量	規制種別	規制回数	備考
粒状路盤工 下層路盤 (t=10cm) (Y)	126.5m ²			
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm) (Y)	59.5t	-	-	C2ランプ 切り替え部
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm) (Y)	17.8t			
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm) (Y)	11.9t			
粒状路盤工 下層路盤 (t=10cm) (Y)	88.7m ²			
加熱アスファルト安定処理路盤工 (t=20cm) (Y)	41.7t	-	-	C2ランプ 新旧交差部
アスファルトコンクリート基層工 (t=6cm) (Y)	12.5t			
アスファルトコンクリート表層工 (t=4cm) (Y)	8.3t			
プライムコート (Y)	161.4ℓ	-	-	FK-3
タックコート (Y)	172.2ℓ	-	-	PKM-T
構造物等取壊し工	126.5m ²	-	-	C2ランプ 切り替え部 ※
アスファルト舗装版取壊し (TYPE A) (Y)	88.7m ²	-	-	C2ランプ 新旧交差部 ※
路面標示工 路面標示JIS規格型C (Y)	96.0m ²	-	-	新設 ※
路面標示消去工 B1 (Y)	68.0m	-	-	本線すり付け部(※1) ※
ランプ切替工 仮設防護柵Gr-A 設置 (Y)	62.0m	-	-	新設C2ランプ(※2) ※

通行止め期間での施工のため、交通規制を伴わない。

※1. 新設C2ランプすり付け部の路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図(路面標示工) (3)」を参照。

※2. 新設C2ランプの路面標示工の詳細については、「トマムIC 平面図(路面標示工) (2)」を参照。

※は単計上を示す。

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通運用図(9)		
縮尺	S=1:3,000	図面番号	22 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

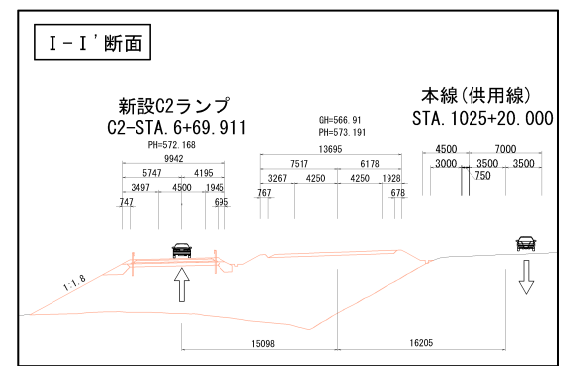
施工内容

- ・ランプ内土工の施工。
- ・旧ランプの舗装撤去。

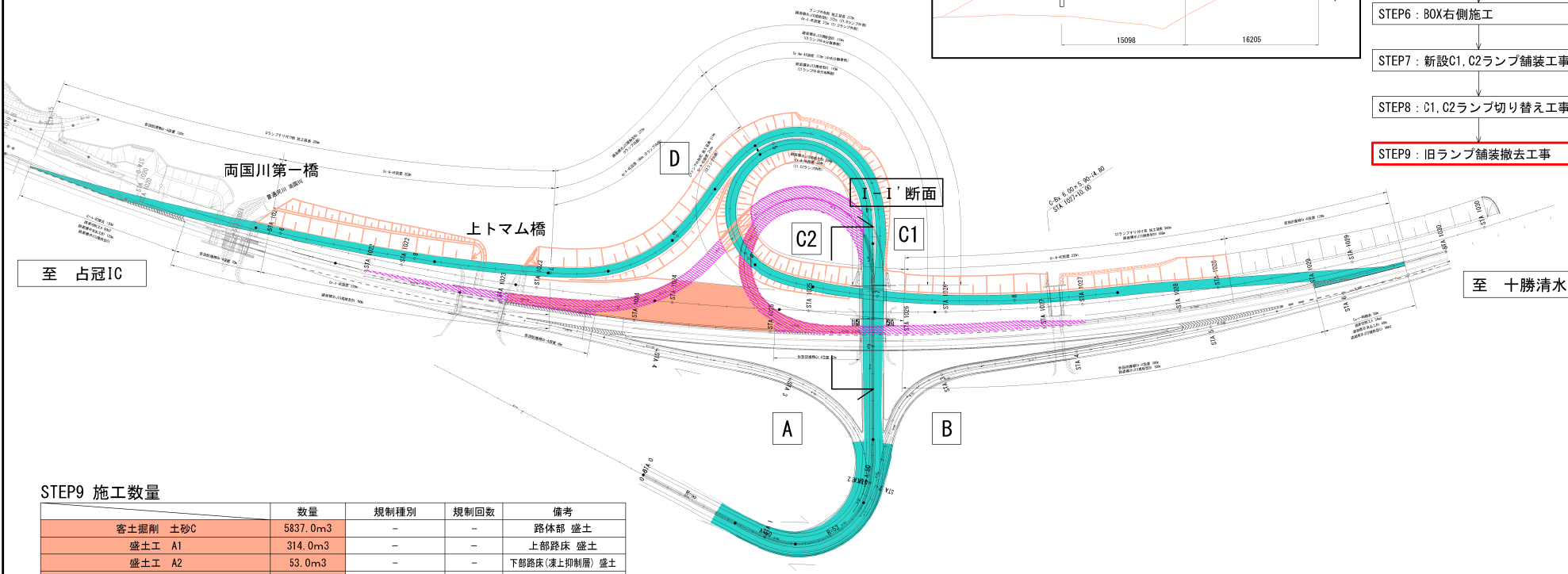
【凡例】

- 一般車両通行帯
- 盛土 施工中
- 施工済
- 舗装撤去 施工中

トマムIC交通運用図 (10) S=1:3,000
STEP9
施工期間：R10.6～R10.7
【旧ランプの舗装撤去】



- STEP1：盛土及び橋梁施工
- STEP2：新設Dランプ舗装工事
- STEP3：Dランプ切り替え工事
- STEP4：BOX中央隔壁施工
- STEP5：BOX左側施工
- STEP6：BOX右側施工
- STEP7：新設C1, C2ランプ舗装工事
- STEP8：C1, C2ランプ切り替え工事
- STEP9：旧ランプ舗装撤去工事



STEP9 施工数量

	数量	規制種別	規制回数	備考
客土掘削 土砂C	5837.0m3	-	-	路体部 盛土
盛土工 A1	314.0m3	-	-	上部路床 盛土
盛土工 A2	53.0m3	-	-	下部路床(凍上抑制層) 盛土
盛土工 A3	657.0m3	-	-	下部路床 盛土
構造物等取壊し工 アスファルト舗装取壊し(TYPE A)	5510.1m2	路肩規制(※1)	2回	旧C1, C2, Dランプ ※

※1. 規制の詳細については、「トマムIC交通規制図(12)」を参照。
※は率計上を示す。

道 東 自 動 車 道 ト マ ム I C 工 事			
図面の種類	トマムIC交通運用図 (10) STEP9		
縮 尺	S=1:3,000	図面番号	23 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

作業内容

- ・防護柵撤去 延長 60m
- ・As-C撤去 延長 60m
- ・仮設防護柵設置 延長 60m

V=40km/h規定値

- ・最小曲線半径R=40m
- ・最小パラメータA=35m

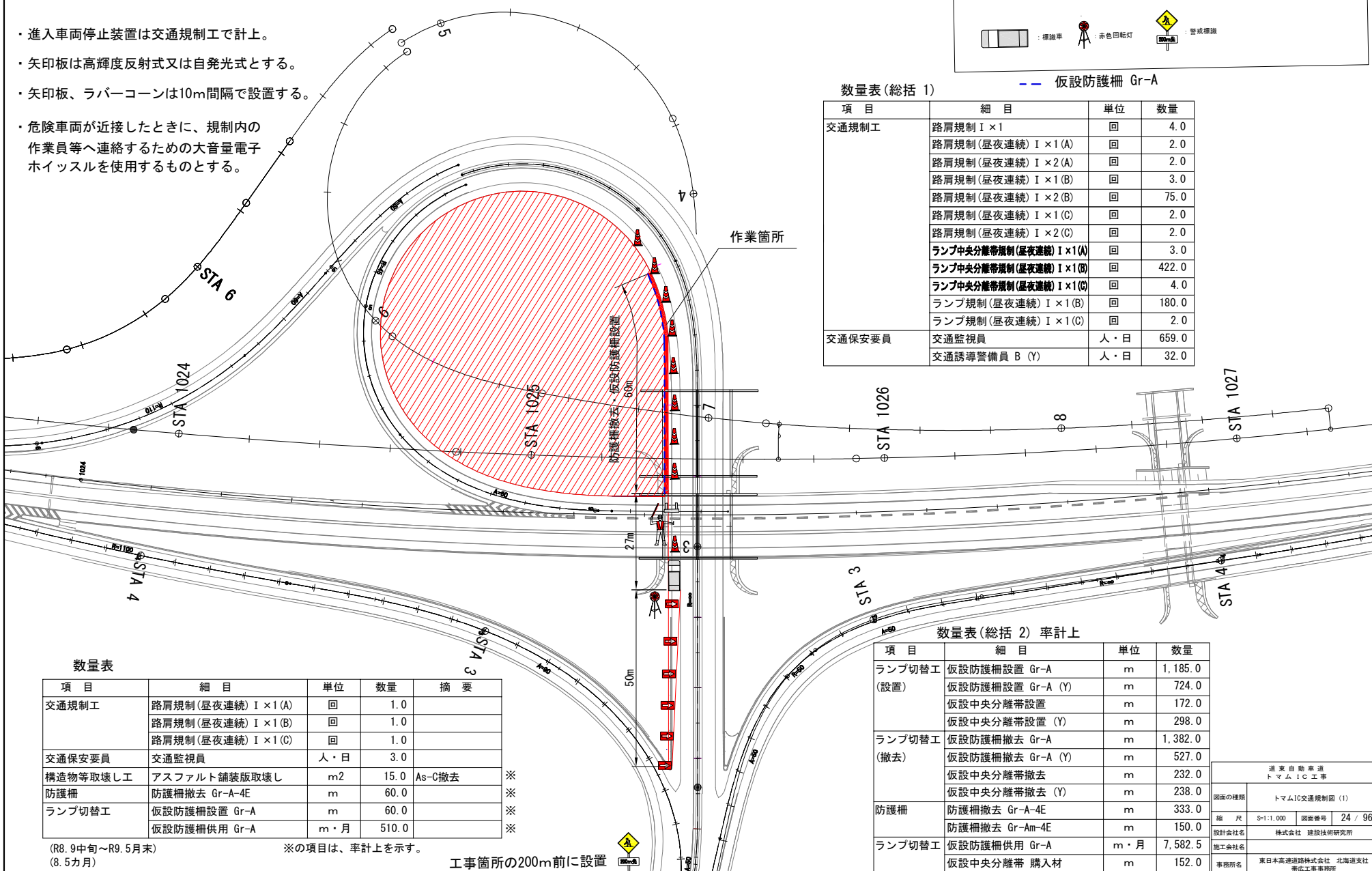
トマムIC交通規制図 (1) S=1:1,000

路肩規制

凡 例



- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。



数量表(総括 1)

項目	細目	単位	数量
交通規制工	路肩規制 I × 1	回	4.0
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (A)	回	2.0
	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (A)	回	2.0
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	3.0
	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (B)	回	75.0
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	2.0
	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (C)	回	2.0
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (A)	回	3.0
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	422.0
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	4.0
交通保安要員	ランプ規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	180.0
	ランプ規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	2.0
	交通監視員	人・日	659.0
	交通誘導警備員 B (Y)	人・日	32.0

— 仮設防護柵 Gr-A

数量表

項目	細目	単位	数量	摘要
交通規制工	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (A)	回	1.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	1.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	1.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	3.0	
構造物等取壊し工	アスファルト舗装版取壊し	m ²	15.0	As-C撤去 ※
防護柵	防護柵撤去 Gr-A-4E	m	60.0	※
ランプ切替工	仮設防護柵設置 Gr-A	m	60.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	510.0	※

(R8.9月中旬～R9.5月末)
(8.5カ月)

※の項目は、率計上を示す。

工事箇所の200m前に設置

数量表(総括 2) 率計上

項目	細目	単位	数量
ランプ切替工(設置)	仮設防護柵設置 Gr-A	m	1,185.0
	仮設防護柵設置 Gr-A (Y)	m	724.0
	仮設中央分離帯設置	m	172.0
	仮設中央分離帯設置 (Y)	m	298.0
ランプ切替工(撤去)	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	1,382.0
	仮設防護柵撤去 Gr-A (Y)	m	527.0
	仮設中央分離帯撤去	m	232.0
	仮設中央分離帯撤去 (Y)	m	238.0
防護柵	防護柵撤去 Gr-A-4E	m	333.0
	防護柵撤去 Gr-Am-4E	m	150.0
ランプ切替工	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	7,582.5
	仮設中央分離帯 購入材	m	152.0

道東自動車道
トマムIC工事

図面の種類	トマムIC交通規制図 (1)
縮尺	S=1:1,000 図面番号 24 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所
事務所名	

作業内容

- ・防護柵撤去 延長 85m
- ・As-C撤去 延長 85m
- ・仮設防護柵設置 延長 85m

V=40km/h規定値

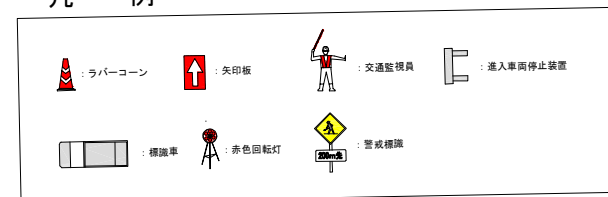
- ・最小曲線半径R=40m
- ・最小パラメータA=35m

トマムIC交通規制図 (2)

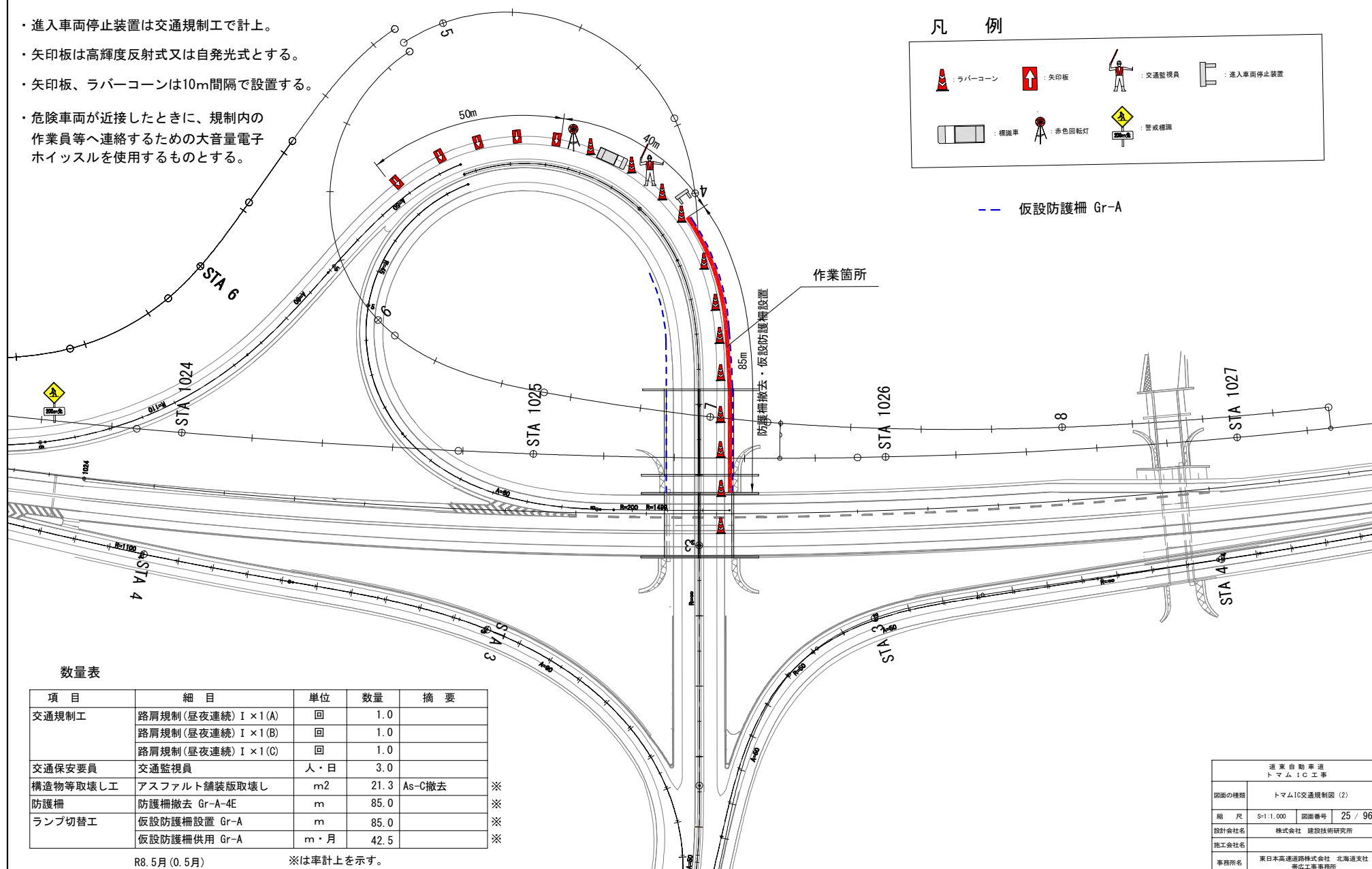
S=1:1,000

路肩規制

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A



数量表

項目	細目	単位	数量	摘要
交通規制工	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (A)	回	1.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	1.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	3.0	
構造物等取壊し工	アスファルト舗装版取壊し	m ²	21.3	As-C撤去 ※
防護柵	防護柵撤去 Gr-A-4E	m	85.0	※
ランプ切替工	仮設防護柵設置 Gr-A	m	85.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	42.5	※

R8. 5月 (0.5月)

※は率計上を示す。

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (2)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	25 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

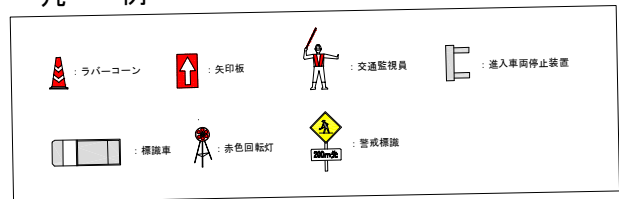
V=40km/h規定値
 ・最小曲線半径R=40m
 ・最小パラメータA=35m

作業内容
 ・中央分離帯撤去 延長 150m
 ・仮設防護柵設置 延長 254m

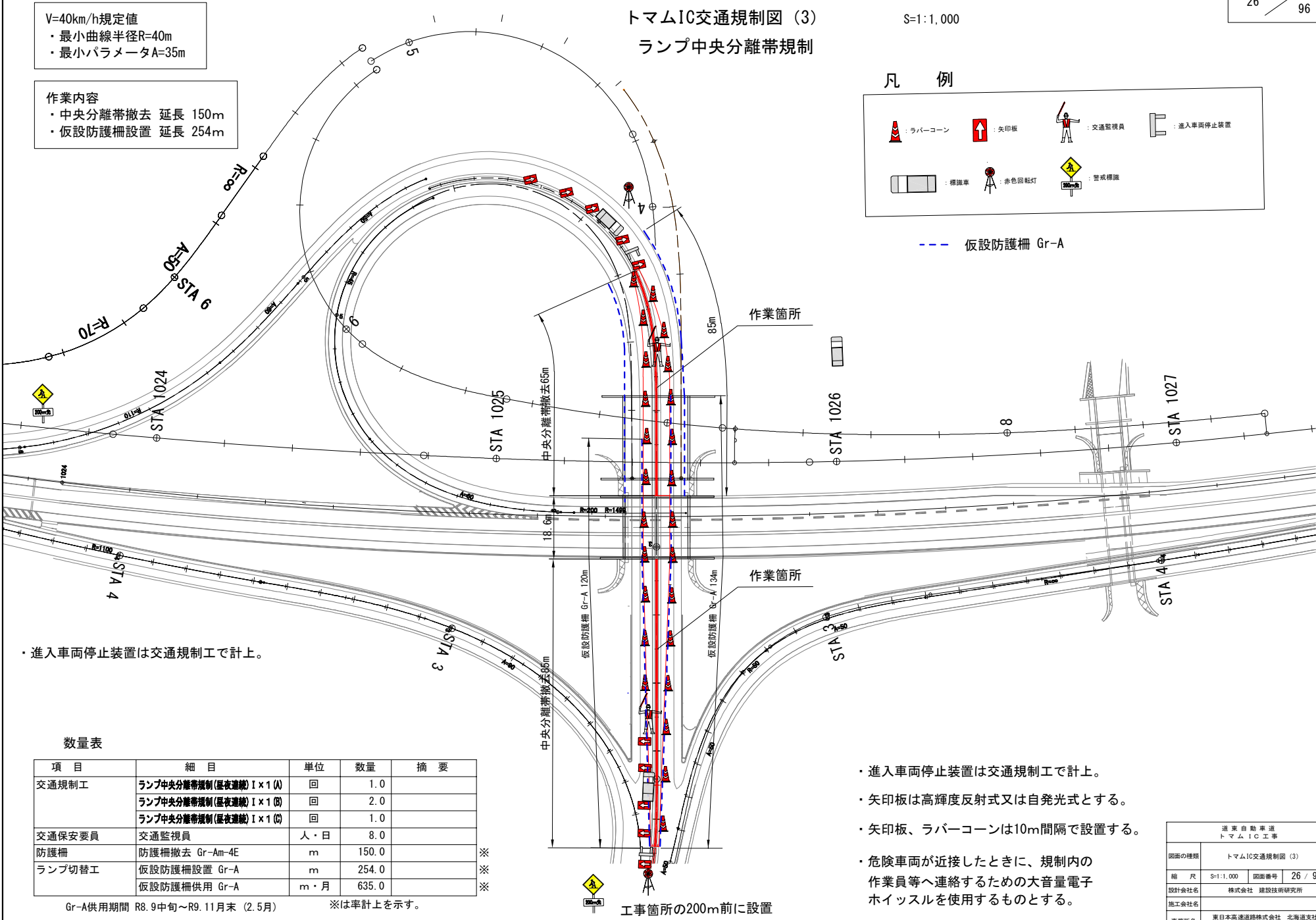
トマムIC交通規制図 (3) ランプ中央分離帯規制

S=1:1,000

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A



・進入車両停止装置は交通規制工で計上。

数量表

項目	細目	単位	数量	摘要
交通規制工	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続)Ⅰ×1(A)	回	1.0	
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続)Ⅰ×1(B)	回	2.0	
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続)Ⅰ×1(C)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	8.0	
防護柵	防護柵撤去 Gr-Am-4E	m	150.0	※
ランプ切替工	仮設防護柵設置 Gr-A	m	254.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	635.0	※

Gr-A供用期間 R8.9月中旬～R9.11月末 (2.5月) ※は率計上を示す。

- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

工事箇所200m前に設置

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (3)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	26 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

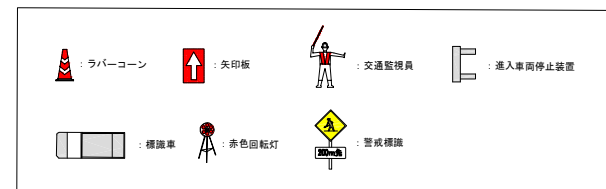
V=40km/h規定値
・最小曲線半径R=40m
・最小パラメータA=35m

作業内容
・防護柵撤去 延長 120m
・仮設防護柵設置 延長 120m

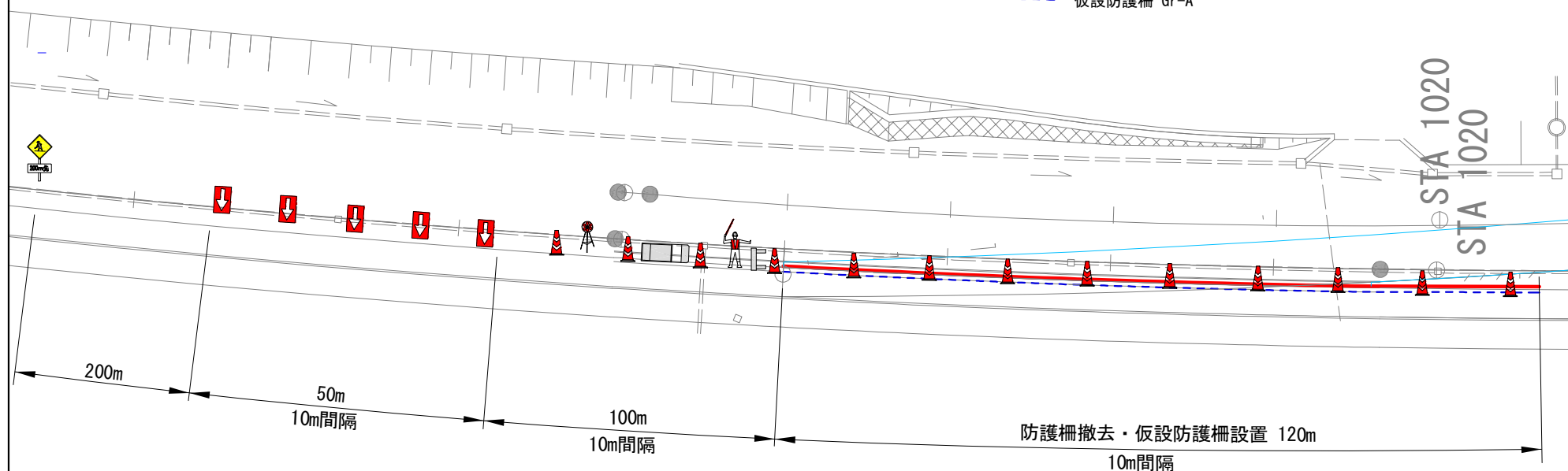
トマムIC交通規制図 (4) S=1:1,000

路肩規制

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A



- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

数量表

項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
交通規制工	路肩規制 I × 1	回	2.0	
	路肩規制 (昼夜連続) I × 1 (B)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	3.0	
防護柵	防護柵撤去 Gr-A-4E	m	120.0	※
ランプ切替工	仮設防護柵設置 Gr-A	m	120.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	60.0	※
	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	120.0	※

Gr-A供用期間 0.5月

※は率計上を示す。

道 東 自 動 車 道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (4)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	27 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

V=40km/h規定値
・最小曲線半径R=40m
・最小パラメータA=35m

作業内容

- ・仮設防護柵設置・撤去
- ・地盤改良工
- ・中央隔壁設置 延長 25m

トマムIC交通規制図 (5) ランプ中央分離帯規制

S=1:1,000

28 / 96

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A

- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

数量表

項目	細目	単位	数量	摘要
交通規制工	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (G)	回	60.0	
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (G)	回	1.0	
交通保安要員	交通誘導警備員 B (Y)	人・日	6.0	(夜間)
	交通監視員	人・日	120.0	
ランプ切替工	仮設防護柵撤去 Gr-A (Y)	m	85.0	(夜間) ※
	仮設防護柵設置 Gr-A (Y)	m	202.0	(夜間) ※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	160.0	2ヶ月 ※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	1,464.0	12ヶ月 ※

※は率計上を示す。

Gr-A供用期間R8.10~R8.11月(2.0カ月) 20+60=80m

Gr-A供用期間R8.10~R9.9月(12.0カ月) 122m

仮設防護柵設置 20+60+122=202.0

工事箇所の200m前に設置

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図(5)		
縮尺	S=1:1,000	図面番号	28 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

V=40km/h規定値
・最小曲線半径R=40m
・最小パラメータA=35m

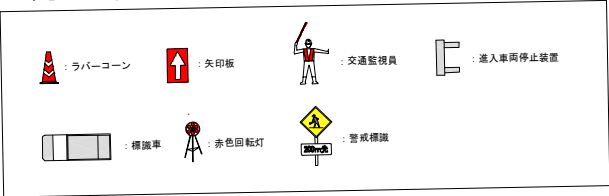
作業内容
・仮設防護柵設置
・仮設中央分離帯設置
・仮設防護柵撤去

トマムIC交通規制図 (6)
ランプ中央分離帯規制

S=1:1,000

29 / 96

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A
--- 仮設中央分離帯

・進入車両停止装置は交通規制工で計上。

Gr-A撤去 20+60+134+120=334.0
Gr-A設置 52+90=142.0

数量表

項目	細目	単位	数量	摘要
交通規制工	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (A)	回	1.0	
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	180.0	
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	4.0	
ランプ切替工	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	334.0	※
	仮設防護柵設置 Gr-A	m	142.0	※
	仮設中央分離帯設置	m	86.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	852.0	※
	仮設中央分離帯供用	m・月	516.0	※

Gr-A供用期間R8. 12～R9. 5月末 (6カ月)

※は率計上を示す。

- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

道 東 自 動 車 道 トマム IC 工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (6)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	29 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

トマムIC交通規制図 (7)

ランプ規制

S=1:1,000

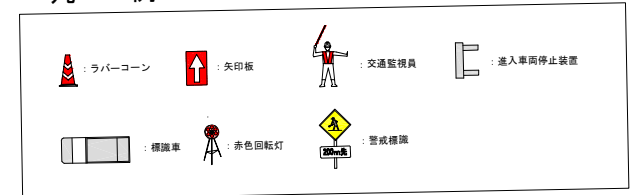
30 / 96

V=40km/h規定値
・最小曲線半径R=40m
・最小パラメータA=35m

作業内容

- ・仮設防護柵設置・撤去
- ・地盤改良工
- ・C-BOX左側設置 延長 25m

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A

--- 仮設中央分離帯

数量表

項 目	細 目	単位	数量	摘 要
交通規制工	ランプ規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	120.0	
	ランプ規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通誘導警備員 B (Y)	人・日	12.0	(夜間)
	交通監視員	人・日	240.0	
ランプ切替工	仮設防護柵撤去 Gr-A (Y)	m	202.0	(夜間) ※
	仮設中央分離帯撤去 (Y)	m	86.0	(夜間) ※
	仮設防護柵設置 Gr-A (Y)	m	258.0	(夜間) ※
	仮設中央分離帯設置 (Y)	m	152.0	(夜間) ※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	1,032.0	※
	仮設中央分離帯供用	m・月	608.0	※

Gr-A、中分供用期間R9.6月～9月4力月 ※は率計上を示す。

Gr-A設置 42+72+36+108=258.0 Gr-A撤去 60+52+90=202.0

工事箇所200m前に設置


- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。


道 東 自 動 車 道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (7)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	30 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		


トマムIC交通規制図 (8)


ランプ規制


S=1:1,000
凡 例


 : ラバーコーン


 : 矢印板

 : 交通監視員

 : 進入車両停止装置

 : 標識車

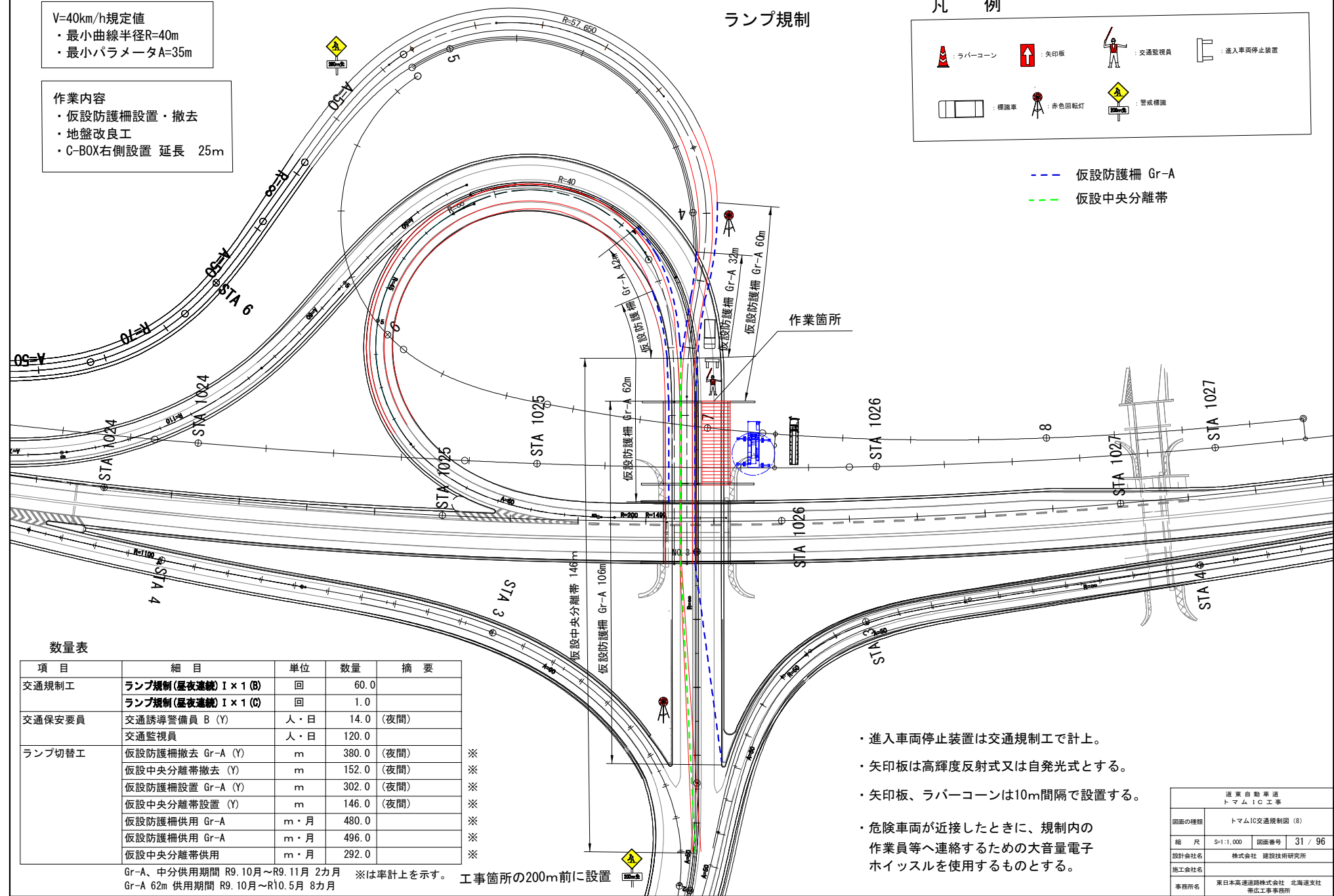
 : 赤色回転灯

 : 警戒標識

--- 仮設防護柵 Gr-A
--- 仮設中央分離帯

V=40km/h規定値
・最小曲線半径R=40m
・最小パラメータA=35m

作業内容
・仮設防護柵設置・撤去
・地盤改良工
・C-BOX右側設置 延長 25m



数量表

項目	細目	単位	数量	摘要
交通規制工	ランプ規制(昼夜連続) I × 1 (B)	回	60.0	
	ランプ規制(昼夜連続) I × 1 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通誘導警備員 B (Y)	人・日	14.0	(夜間)
	交通監視員	人・日	120.0	
ランプ切替工	仮設防護柵撤去 Gr-A (Y)	m	380.0	(夜間)
	仮設中央分離帯撤去 (Y)	m	152.0	(夜間)
	仮設防護柵設置 Gr-A (Y)	m	302.0	(夜間)
	仮設中央分離帯設置 (Y)	m	146.0	(夜間)
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	480.0	
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	496.0	
	仮設中央分離帯供用	m・月	292.0	

Gr-A、中分供用期間 R9.10月～R9.11月 2ヵ月 ※は率計上を示す。
Gr-A 62m 供用期間 R9.10月～R10.5月 8ヵ月

工事箇所の200m前に設置

- ・ 進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・ 矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・ 矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・ 危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

道 東 自 動 車 道 トマム IC 工事			
図面の種類	トマム IC 交通規制図 (8)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	31 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

V=40km/h規定値
・最小曲線半径R=40m
・最小パラメータA=35m

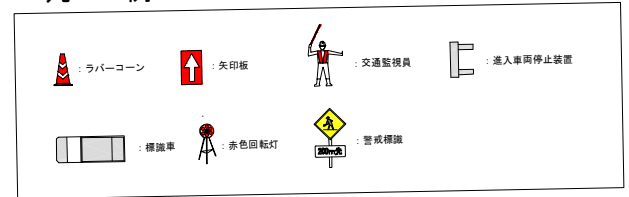
作業内容
・仮設防護柵設置
・仮設中央分離帯設置
・仮設防護柵撤去

トマムIC交通規制図 (9) ランプ中央分離帯規制

S=1:1,000

32 / 96

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A
--- 仮設中央分離帯

・進入車両停止装置は交通規制工で計上。

Gr-A撤去 42+32+60+106=240.0
Gr-A設置 52+90+122=264.0

数量表

項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
交通規制工	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I x 1 (A)	回	1.0	
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I x 1 (B)	回	180.0	
	ランプ中央分離帯規制(昼夜連続) I x 1 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	4.0	
ランプ切替工	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	240.0	※
	仮設中央分離帯撤去	m	146.0	※
	仮設防護柵設置 Gr-A	m	264.0	※
	仮設中央分離帯設置	m	86.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	1,584.0	※
	仮設中央分離帯供用	m・月	516.0	※

Gr-A供用期間R9. 12~R10. 5月末 (6カ月)

※は率計上を示す。

- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。

- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

道 東 自 動 車 道 トマム IC 工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (9)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	32 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

トマムIC交通規制図 (10)


S=1:1,000


路肩規制


V=40km/h規定値
・最小曲線半径R=40m
・最小パラメータA=35m


作業内容
・仮設防護柵設置・撤去
・Cランプ舗装工事


凡 例


 ラバーコーン


 矢印板

 交通監視員

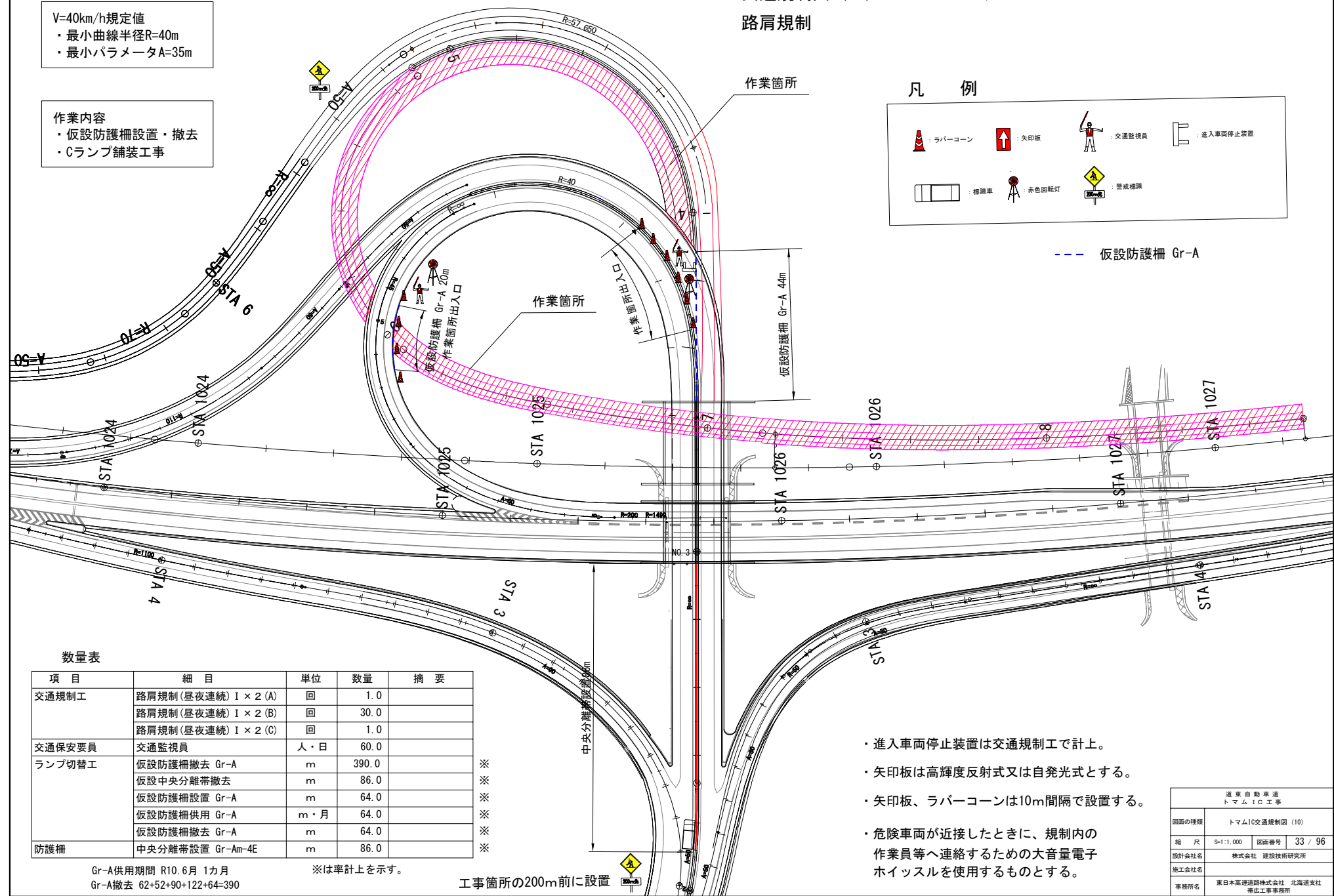
 進入車両停止装置

 柵欄車

 赤色回転灯

 警戒標識

--- 仮設防護柵 Gr-A



数量表

項 目	細 目	単位	数量	摘 要
交通規制工	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (A)	回	1.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (B)	回	30.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	60.0	
ランプ切替工	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	390.0	※
	仮設中央分離帯撤去	m	86.0	※
	仮設防護柵設置 Gr-A	m	64.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	64.0	※
	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	64.0	※
防護柵	中央分離帯設置 Gr-Am-4E	m	86.0	※

Gr-A供用期間 R10.6月 1カ月
Gr-A撤去 62+52+90+122+64=390

※は率計上を示す。

工事箇所の200m前に設置

- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

道 東 自 動 車 道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (10)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	33 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

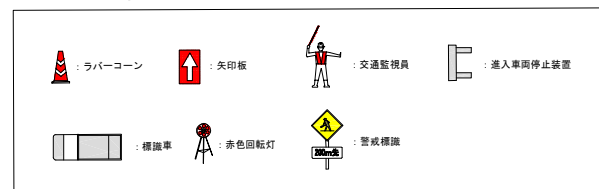
V=40km/h規定値
 ・最小曲線半径R=40m
 ・最小パラメータA=35m

作業内容
 ・防護柵撤去 延長 120m
 ・仮設防護柵設置 延長 120m

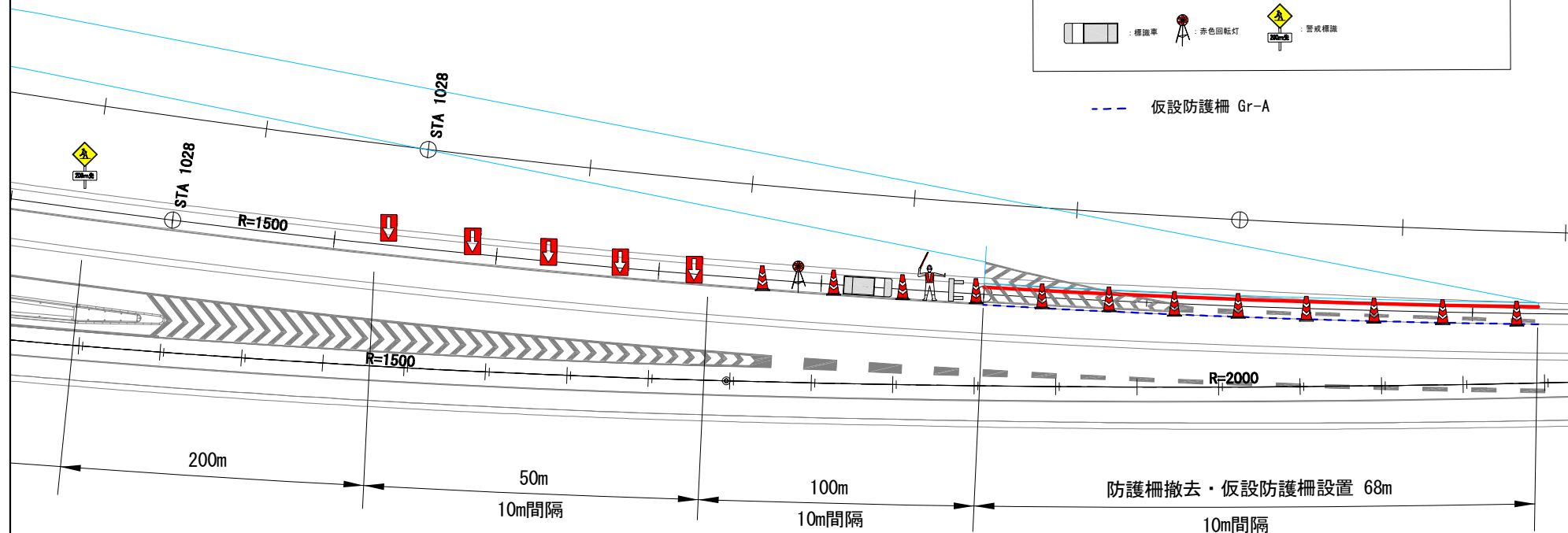
トマムIC交通規制図 (11) S=1:1,000

路肩規制

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A



- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

数量表

項目	細目	単位	数量	摘要
交通規制工	路肩規制 I × 1	回	2.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	4.0	
防護柵	防護柵撤去 Gr-A-4E	m	68.0	※
ランプ切替工	仮設防護柵設置 Gr-A	m	68.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	68.0	※
	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	68.0	※

Gr-A供用期間 R10.5月中旬～6月中旬 1ヵ月

※は率計上を示す。

道東自動車道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (11)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	34 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

V=40km/h規定値
 ・最小曲線半径R=40m
 ・最小パラメータA=35m

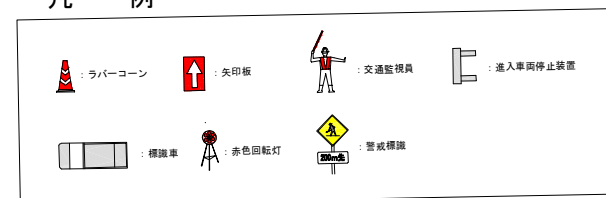
作業内容
 ・ランプ内土工工事

トマムIC交通規制図 (12)

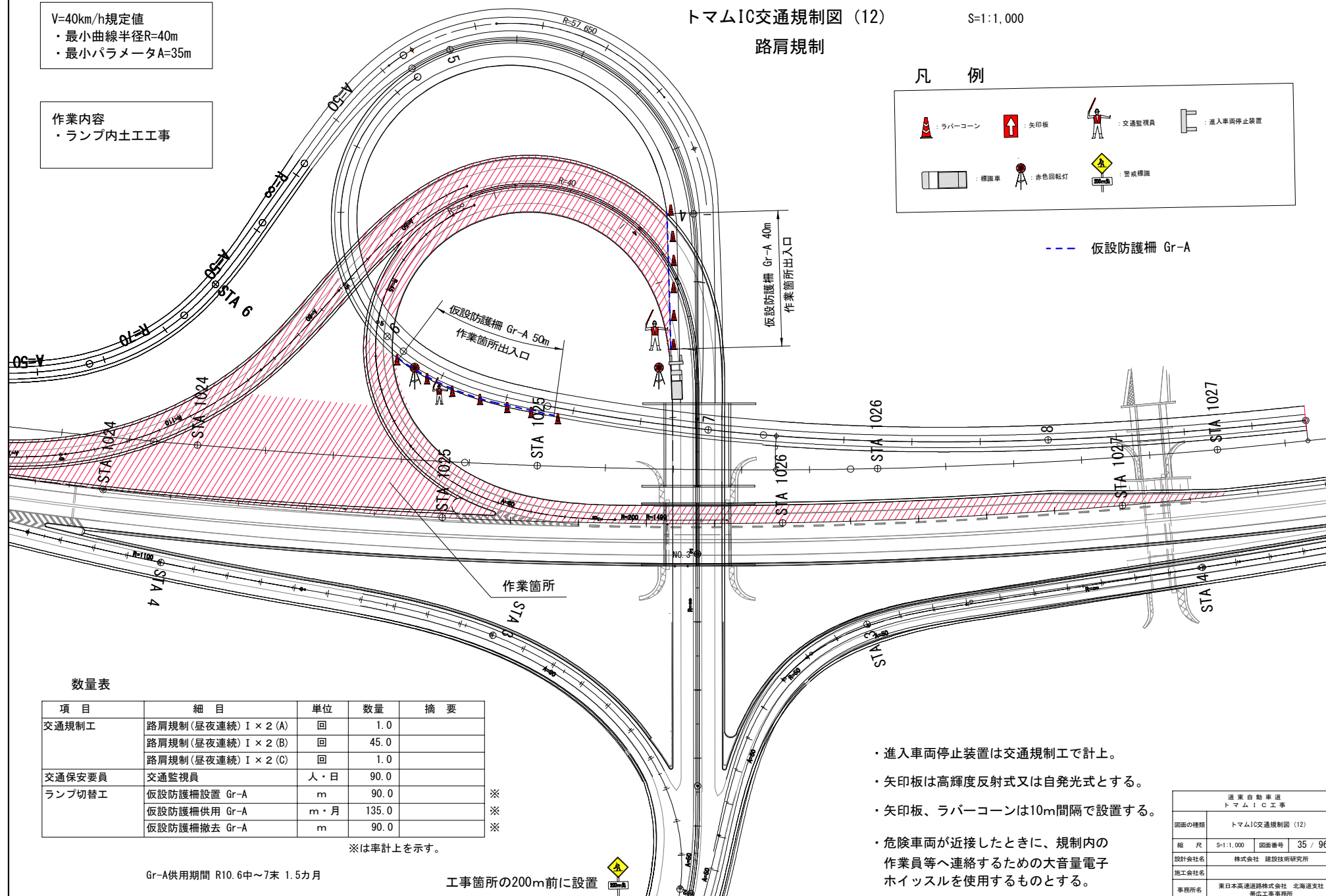
路肩規制

S=1:1,000

凡 例



--- 仮設防護柵 Gr-A



数量表

項 目	細 目	単 位	数 量	摘 要
交通規制工	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (A)	回	1.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (B)	回	45.0	
	路肩規制(昼夜連続) I × 2 (C)	回	1.0	
交通保安要員	交通監視員	人・日	90.0	
ランプ切替工	仮設防護柵設置 Gr-A	m	90.0	※
	仮設防護柵供用 Gr-A	m・月	135.0	※
	仮設防護柵撤去 Gr-A	m	90.0	※

※は率計上を示す。

Gr-A供用期間 R10.6中～7末 1.5カ月

工事箇所の200m前に設置



- ・進入車両停止装置は交通規制工で計上。
- ・矢印板は高輝度反射式又は自発光式とする。
- ・矢印板、ラバーコーンは10m間隔で設置する。
- ・危険車両が近接したときに、規制内の作業員等へ連絡するための大音量電子ホイッスルを使用するものとする。

道 東 自 動 車 道 トマムIC工事			
図面の種類	トマムIC交通規制図 (12)		
縮 尺	S=1:1,000	図面番号	35 / 96
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		